大正七年二月六日　THE KEIJO NIPPO　第三千七百二十八號（一）

京城日報

二月五日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

發行兼印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社

○滿足なる平和を得る迄
最高軍事會議の決議

ウエルサイユの最高軍事會議にて滿足なる平和を得る迄戰爭を遂行するは吾人の義務なりと決議せり（倫敦電報）

○聯合國軍事會議

米國大統領ウイルソン氏は言明して曰く『聯合國最高軍事會議は各國政府に諮らず軍事上の決議を實施するを得るに至る可く合衆國よりは一名の閣員乙が委員たる可し』と（華盛頓電報）

○伯林の罷業下火

伯林半官報は同盟罷業が到る處既に下火となり罷業者の數著しく減少し小規模罷業に於ては全員復業したりと述べたり（アムステルダム電報）

○罷業巨魁捕縛數

先週中伯林に於て同盟罷業の巨魁の捕縛せられたる者百六十名に及びたり又罷業の地方はコローヌ、カツセル、ブレスロウ、ライブチヒ、ルードウイヒスハツフエン、ドレスデン等を含め伯林市内は漸次常態に復しつゝあり（アムステルダム電報）

○韃靼共和國創設

韃靼人はクリミヤに於て共和國を創設せり（倫敦電報）

○露銀行預金引出禁止

過激派政府は在外露國大公使及び領事館の露國銀行預金引出を禁止せり（倫敦電報）

○增廢税 政友會の修正に同意か 閣議

增廢税に關する政友會の修正意見に對し政府は四日院内に臨時閣議を開き其の結果後藤内相より寺内首相に通じ首相の承認を經て大體の決定を見たり即ち政友會道般の形勢は政府が豫算編成の大眼目たる國防計畫は全部是認し其の財源たる増廢税に對し局部的修正を加へたるは諒とするも所得税法中改正に迄立入りて否認せるは財政計畫の根本を破壞するの嫌あるを以て此の點に對し飽く迄原案を固執する事に申し合せたり而して本案以外の税制計畫は今日の場合政府が強ひて固執せば却て政局の紛糾を來す事無きを保せず特に政友會の修正程度は貴族院に強ふる體の修正案とも思はれざるを以て寧ろ相讓の美德を發揮して潔く政友會の修正に同意す可きか（東京特電）

○增廢税修正 協議

後藤内相及び勝田藏相は四日午前寺内首相を自邸に訪ひ前夜原政友會總裁の齎らせる增廢税修正の件に對し鼎座凝議する處あり後藤内相は犬養國民黨總理と會見更らに議會に出席して院内閣議を開き閣僚の意見を求めたる後内相は更らに首相を自邸に訪ひて報告し後原總裁を訪問し所得税の否決は政府の堪へ難き所なるを述べたるが其の結果前電の如き結果を見るに至れり（東京特電）

○通行税廢止 交渉

政國兩黨は通行税廢止に關する態度を決す可く五日國民黨政友會院内總務と國民黨總務との間に正式交渉を開けり（東京特電）

○脫税事件處罰

淺野スレート會社の製瓦機械脫税事件明白となり橫濱稅關にては同社に對し該機械を沒收し罰金八千餘圓に處する旨の命令書を發せり（東京電報）

○千歲鎭海拔錨

練習艦千歲は六日仁川に向け鎭海拔錨第三艦隊香取肥前は四日鎭海へ入港せり（鎭海特電）

○平井顧問通過

支那交通部顧問平井博士は四日午後六時三十分奉天直ちに京奉線にて北京に向へり（奉天特電）

◎宗教眼に映ずる歐洲戰爭觀
陽春の大激戰
英國救世軍司令官ブロダー氏談

本月一日午前［illegible］英國救世軍司令官テアドリース・ブロダー氏は［illegible］列車にて北京に向ひたるが［illegible］に就き語つて曰く

今回の戰爭は經濟上及び政治上の利權爭ひが原因の樣に思はれる、大體現代英國では基督教の內でもエツピスコパールを信仰し獨逸では寧ろ會衆教則ちコングリゲーションを拜して居る名前にこそ差はあれ大體に於て何等變る處はないが全然獨逸の宗教家共者は根本的に間違つて居る、獨逸宗教家にも博學者も居れば隨分名ある人物も居るが英國の樣な

△淸廉潔白の 者許りでないので一般國民が人道を無視し道德心を破壞すると云ふ結果になる、今回の戰爭に於ける獨軍の獰猛な行動は神の仇敵であると云つて差支へなからう、我が救世軍は例令平和克復後と雖も獨逸政府に向つて相當の抗告を爲す積りである十九世紀頃では基督教傳道に就ては幾分策を弄すると云はれても已むを得ぬ事實もあつたらうが併しそれは宗教の絶對的眞意ではなく只或る程度迄の了解を得る爲めの

△手段に過ぎ ないので宇宙間の凡てのものが進展した今日の基督教は何等の詐策も手段方法も要しない招かずして歸依する程有難いものである、併し獨逸の如き獰惡極まりない國民が白人種クリスチヤンの内から生み出されたかと思ふとイエス、クリストの爲めに歎かはしい次第である、イヤ戰爭は未だ已まぬ、早くとも明年の三四月頃にならねば治まらぬ、目下獨逸は佛國々境西部戰線に對して全力を擧げて作戰してゐると同時に聯合軍も亦之れに對抗す可く陣容を整へて居るが本年三四月頃には必ず開戰以來未曾有の

△大激戰が行 はれ、而して之れが則ち最後の決戰であらうと思ふ、必ず此の大激戰に依つて硬軟何れにか服從する事は明な事實である、神の瞳に影ずる獨逸は罰するに極刑なしと云つて宜しい、然し私は平和の神の爲めに悲しむ者である……茲に話頭は一轉して氏の眼に映じたる鮮人觀となる……私は朝鮮の土地を踏む事は初めてである、白服を纏ひ紳士として居る有樣や話にも聞いた眞鍮製の煙管（サバツ）を貯ふる處から一般の風俗を見ると印度人と何等かの關係がありはせぬかと思はれる又一方

△思想上から 解剖して見ると宗教に對する觀念なども全然無頓着である、と云ふ事は在鮮宣教師からの噂で聞いた、何れにもせよ御國の指導に依れる思想上の向上發展は誠に喜ばしい事である（完）

◎外人入國取締
六日總督府令にて公布

二月六日總督府官報にて府令の形式を以て『外國人渡來に關する件』を發布し即日より施行の筈なるが右は曩に内務省令を以て發布されたる同令に關聯して發布したるものにして全文は七條及び附則よりなり其內容は大略左の如し

第一條 朝鮮渡來外國人にして左記に該當する者は警務部長に於て上陸又は入境を禁止する事を得

第一號 旅券又は國籍證明書を所持せざる者但旅券又は國籍證明書には必ず寫眞を添付し其旅券又は國籍證明書は本國政府の發給せしものにして帝國の在外大公使館の査證を經たるものなること

第二號 帝國の利益に背反し又は敵國の利便を圖る行動を爲す者

第三號 公安を害し又は風俗を紊す者

第四號 浮浪の徒

第五號 乞食

第六號 各種傳染病者

第七號 心神喪失者

第二條 旅券又は國籍證明書の提示を要せざる事を法律に規定せしものは本令を適用せず

第三條 朝鮮渡來の外國人は警察官憲又は憲兵の請求に應じ旅券又は國籍證明書の提示を爲し又は檢問に對して眞實の陳述を爲す可し

第四條 前條に違反し或は旅券又は國籍證明書等を詐りて使用し若くは僞りて査證を受けたるもの又は退去を命ずる者に對しては警務部長は上陸禁止又は退去を命ずる事を得

第五條 帝國駐在の外國大公使館員及び其家族には之を適用せず

附則 本令は公布の日より之を施行す

但し旅券又は國籍證明書に關する事項は二月十二日より其効力を開始す

旅行の途中にて査證を經ざるものには第一條第一號の規定を適用せざることを得

◎奉天省の財政觀に就て
幣制紊亂と省財政は別物
美濃部朝鮮銀行總裁の談

美濃部鮮銀總裁は往訪の記者に曰く四日の貴紙夕刊に予の談として記載されし奉天省の

△幣制紊亂 は事實甚しきものにて乃ち奉天の支那側金融機關たる東三省官銀號奉天興業銀行交通中國殖邊銀行江省の四銀行支店の各々紙幣を亂發して銀局本位貨たる銀と紙幣との間に銀紙の差百圓に付一圓五十錢も生じ居る始末にて其の對策は色々の曲折を經たる末其の結果本人の制限兌換を四萬元に限定せるも大に困色を來せるは當然なり其の結果四分利附無期限債券並に遞兌票の發行となり益々紛紜を來し居れるが幣制の紊亂甚しきは

△嚴たる事實 にして早晩何等かの方法を執る必要あらんが其幣制の紊亂が省財政の困難より來れりと云ふは聊か當らず予は此行奉天省の財政に就ては素より匆々の際とて深き研究を重ね居らざるも、其の各税收入は頗る順調にして之れを他の各省に比し決して遜色ありと思はれざる也貴紙の予の談話は奉天省財政は幣制の結果財政を大に紊亂させ居れりとなり居れるも幣制紊亂と省の財政は現狀別物と觀察するを妥當と思惟するに付大方の誤解なき樣一言す

◎定例長官會議

五日總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き各部局長官及所屬官署長等參集長谷川總督臨席の上諸般の政務に就き協議する處ありたり

◎生産超過
本年の黑鉛界
臨井武二郎氏談

［illegible］

本年朝鮮の黑鉛産出は許可鑛區が昨年來俄に增大したのと現に飛入氣を見せてゐるから

△約七千噸 は下るまいと思はる、乃ち本場たる平安南北道で約五千噸咸南城津地方で彼是千五百噸更に他の各道で五百噸内外ですから恐らく此の觀測は餘り外れてゐないと思ふ然るに一方内地に於ける製鋼用の黑鉛需要は幾何であるかと云ふに米鋼鐵の禁輸や何かで從つて增加はしてゐるが先づ四千五百噸乃至

△五千噸見當 であらう、然らば朝鮮産は内地の需要に比し約二千噸の供給超過を來すであらうから更に日本より米國への輸出は如何と云ふに昨年米國が輸入品を

△制限主義 を執るやうになつてから黑鉛の日本輸出は米國外務省の特許を要するなどの手續を經ねばならぬため到底多量は仕向けられまいし更に黑鉛は一種の軍需品と認められてゐるから他の中立諸國へも輸出は困難の事情がある故に本年の黑鉛價の前途は餘り強くないと云ふ外はなく結局品位の契約を行しないであらう

△黑鉛業者 並に時價に算盤を弾いて斯業の經營を試みやうと云ふ人々は保持警戒を必要とするであらう

◎紙附切手回收

近日鮮内に於ける通貨膨脹は最近鮮銀支拂手形の拂出しに依り大に緩和の形なるを以て其の膨脹未發行せる紙附郵便切手は發賣を可成手控へ一方回收に努めつゝあるが四日までの所其の郵便貯金並に振替貯金の拂込みとして回收せし額は總發行高の約三分の一に達し右の外爲替切手料金其他の收入により回收せしものも少なからずと

◎朝郵二船增加

朝鮮郵船會社に於ては今回新潟鐵工所造船所より千賀丸（九百噸）を買船する契約成り四月受渡しの事に決定せしが同船は同社の咸鏡丸と同型のものなり又松崎營業課長神戸に行きの結果神戸島谷總三郎氏所有山陽丸（千二百五十噸）を三月末受渡しの契約にて購船する事に決定したりと

◎西湖津臨時寄港

朝鮮郵船會社受命の元山浦鹽航路は西湖津に臨時寄港し得る事に認可されたり

◎灌漑事業許可

京畿道管内抱川郡を貫流する深谷川の水を利用する灌漑事業は既に其の必要を認められ居りしが今回地方關係者の出願に依り抱川郡新北面に堤堰の新設を許可せられたるが此の灌漑面積は七十四町四反歩なりと

◎京畿乾草貯藏狀況

大正六年度に於ける京畿道管内に於ける乾草貯藏狀況を聞くに貯藏戶數九萬二千二百零六戶にして此貯藏高九百四十四萬八千百五十七貫而して一戶平均貯藏高百零三貫にして之を畜牛一頭に對する平均貯藏量九十一貫の割合を示せし前年に比すれば貯藏量百七萬七千七百十八貫貯藏戶數三千七百九十戶を增加せりと

◎京管職員異動

滿鐵京管局にては一月三十一日附を以て職員佐久間正次郎氏外六名に對し依願免本職を發令せるが尚二月一日附を以て職員並に雇員の大異動を發表せり

○成都危險に陷る

四川省成都は今や危險に陷れり（北京電報）

○岳州恢復と懸賞

馮總統は三十萬元の懸賞にて岳州恢復を計畫せりと（北京電報）

○北軍の蒲圻恢復

張敬堯軍は二日湖北省蒲圻を恢復せりと（北京電報）

○張敬堯辭職申出

張敬堯氏より南方討伐司令を李純氏を通じ辭するの電報來れるが其の原因は馮總統、王總理は一意主戰に和議を進めんとするを疑へるものなり政府は一方に和議を進めんとする旨を辯解し慰留の返電を發せり（北京特電）

○政友幹部會
豫算問題に就き協議

政友會にては四日午後七時より議會官舍階上大廣間に於て幹部會を開き豫算問題に就て協議する所ありて意見を交換したる結果全會一致にて申合せをなし午前零時散會せり申合せの要旨は今回の財政計畫は主として國防計畫と財政整理にあるも國防計畫及び之れに要する財源は之れを認め財政整理は之れを平和克復の後に讓る事とし其の趣意に基き酒造税戰時利得税及び所得税法中改正法律案は修正可決し其他の財政案は全部是れを否決するの方針とせり（東京特電）

◎開城電氣點燈期

開城電氣會社は客年十一月より點燈の豫定を以て諸般の設備を取急ぎ既に十月末には内地の工場を終了したるも船舶の都合上下關より機關の輸送大に遲れたるより會社にては非常手段を講じ多額の費用を拂つて機關の到着に努めし結果漸く全部到著したるを以て直ちに其の据附に從事し目下工事を取急ぎ居れるが本月二十日頃迄には機關の試運轉を爲し得るに至るべく遲くも三月初旬には點燈の運びに至るべしと因に點燈希望者は此際申込みなば諸種の便利を得べしと（開城）

◎兒童入學届出數

大正七年度に於ける京城府内學齡兒童の届出は二月二十八日迄の規定なるが戶籍係は本其他の關係に依り五日迄の届出總數は京城二百六十名龍山四十名計三百名の少數にして總數の一千六百名中僅に五分の一強に過ぎざるが當局者は夫々按配等の都合あるを以て父兄は速かに届出ありたしと希望し居れり

◎吉林の將來
吉林領事 深澤暹氏談

内地出張中なりし吉林領事深澤暹氏は二日朝釜山より上陸直に北行したるが語りて曰く

近來の吉林は最も好調を以て發展しつゝあり道般の吉長鐵道引繼は一層吉林の將來に光明を與へたるもの尠少ならず經濟界の調和は全く順調にして從つて工業の勃興は多々見る可きものあり資本金七萬圓を以て成れる燐寸會社の如き大倉組の手に經營されたる資本金五十萬圓の製材所の如き著々として隆盛を呈し居れり同地の森林、鑛業は將來の吉林啓發を爲すに餘りあるものにして過般よりはニクタールに於て資本金三百萬圓を目途とする合辦を以て支出し鏡泊湖に懸れる瀑を利用して電氣を起し之れを原動とした製紙會社の創立計畫あり原料は豐富なる木材より採取して大々的に活躍すべき見込にして各所に工業の勃興するあり己に創立の擧を開きたるを始めとし吉林は工業地として瞩目に値す可く尚且吉會鐵道の實現するの期に臻らん歟、滿蒙の商工業地として一頭地を抜く、素より容易なるべきを疑はざるなり（釜山）

◎鮮銀の小冊子

朝鮮銀行調査局第一課にては『朝鮮に於ける粟豆豌豆に關する調査』第二課にては『露國に於ける物々交換取引の復興』『露國銀行界に於ける外國資本』『列國の戰後海運界準備』等の小冊子を刊行關係方面に配附せしが精確の調査並に外字新聞雜誌の論評にて有益なり

◎師團長記者招宴

第十九師團長立花小一郎氏は六日午後六時より花月に京城新聞通信記者を招待張宴すべし

◎久保局長慰問

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は更に六日朝南大門發滿洲線慰問の旅に上るが途中全州及び光州を視察し九日歸任の豫定なりと

◎久門所長歸任

京城本局と事務打合の爲め來京中なりし京管局滿洲出張所長久門雄二氏は打合事務終了に付五日朝歸任せり

【群山】

▲水產市場合併 群山には從來群山水產株式會社と佐賀縣水產共同販賣組合の二水產市場在りしが自然競爭の不利に陷り兩者の合併問題は群山有識者間に久しく唱道研究せられつゝありしが最近合併問題は局外有力者の熱心斡旋の結果雙方當事者等も誠意を以て協商しつゝあれば近く其合併は實現せらるべし

▲客月米檢 群山穀物檢査所取扱に係る一月中の米穀總數量は十一萬五千八百叺にして昨年同月中の檢査總數量に比し三萬五千五百五十二叺を增し居れるが是は舊臘中天候不良の爲め奧地よりの搬出と乾燥を妨げられたる結果十二月中の檢査米數量は一昨年十二月中に比し實に十二萬八千九百二十三叺を減じたる反動と見るを得べく猶ほ今後天候と米價の激變無き限り輸出檢査米數量は益々增大すべしと

人事消息

△今野清氏（總督府山林課技師）四日全羅北道へ出張
△石多喜助氏（總督府水產課長）四日蔚山へ出張
△内田爲太郎氏（明治屋京城支店長）東上中の處五日歸京
△臨井武二郎氏（新安州鑛業家）四日朝內地より入京朝鮮ホテル止宿中なりしが五日朝新義州へ

大阪だより

△日支合辦紡績 大倉組、日本綿花各五十萬元支那北方の段祺瑞等支那側株主百五十萬元の共同出資に制定ありたる支那天津の裕元紡績は紡織機据付の錘數四萬錘の中米國より到著せる一萬五千錘の据付を終り目下諸般の準備に着手中にして此程より運轉を開始せり

△邦人滿洲發展 某所來信に依れば滿洲に於ける本邦人の事業は非常なる勢を以て發展し新設會社及び支店等增加は大正元年の百四十一社より五年は二百五十四社即ち百九社の激增を來し六年は更に三十社内外の增加を示せるが本社の六年末現在高は百五十社にして其の中一百萬圓以上の資本會社は滿鐵の二億圓本溪湖煤鐵有限公司の七百萬圓を主とし正隆銀行の三百萬圓大連汽船の二百萬圓を始め百萬圓の會社は大連銀行、大連取引所、滿洲殖產、南滿洲物產、滿洲製糸、滿洲船舶、東亞汽船、大連取引所信託、山東興業、滿洲皮革、大連油脂工業等にして其他三井、三菱、藤田、住友、久原、大倉等の鎭山、朝鮮、東拓其他の支店にして各支店出張所を設置しあるもの多く本邦人の滿洲發展の趨勢益々旺盛なり

△淸酒好況奔騰 淸酒は需要益々增加好況の爲め更に相場昂騰し灘酒は近日一圓方引上げ其他の酒造地も皆五十錢方引上げ新春以來二圓五十錢方の奔騰を示せり本期は米高の爲め生産手控の爲め古酒は生産三百萬石を減少し例年新酒出廻期四月頃に尚一ケ月内外の古酒を持越さるゝ例なりしに本年は全く古酒は三月一杯にて賣切の好況を示し上酒は一樽三十五圓五十錢乃至四五圓を唱へ一升一圓十五錢乃至五十錢の高値にて地方筋の需要は近年稀なる增加なり

△石炭酸は强含 工業藥品中石炭酸は夏織物染織期の需要準備として染料業者の黑色染料製造旺盛期に向ひし爲め需要增加し相場强含みにて昂騰の氣配なるが既に百七十圓臺に奔騰したる事とて市場取引は高値利喰にて伸び惱み依然同相場を持續しつゝあるが前途見込なり其他の工業藥品は大體品薄の氣味あり一般保合の狀となり苛性曹達は各一ポンド二十八圓八十錢晒粉は十三圓八十錢

△小口預金增加 時局以來下層階級にまで及ぼせることは勿論なるが市内十四箇所に支店出張所を有する日本貯蓄銀行に就き其狀況を聽くに舊臘末決算に要する預金引出し相當多額のものあるべしと豫期せしに却て預金を爲せし方面のもの多く其支出は例月の支出を超過せず本月は正月とて其々各方面を通じ支出金も多かるべければ預金の減少すると共に支出も多かるべしと思ひしに預金は益々增加の一方なるは畢竟下級者の所得の豐富なるを立證するものにして世間現下の狀態を卜するに足るべしと（大阪支局）

時間表（十一月一日現行）［illegible］

眞に國家の大損失

逝ける秋山海軍中將の事ども

第十九師團長 立花陸軍中將談

海軍中將秋山眞之氏の訃報を齎らして第十九師團長立花中將を官邸に訪ふ、中將曰く

大なる經綸をもつて居る人であつたが惜しい事をした、私は秋山好古大將を通してこの友誼をもつて二三回會食をした事もあつたが兄大將の氣藹豪邁、小節に拘泥しないのとは反對に才氣煥發、縱橫機鋒、一口にして盡せば頗る[illegible]でなく政治家としても將來大いに囑目されて居り、且つ斯る古典にまで深き造詣をもつて居た中將の死は眞に國家の爲め大損失と言はねばならぬ

平民的の人

矢野通信課長談

吾が海軍部内の後才たる逝ける秋山海軍中將とは同縣人たる關係にあるが年も異ふし深く知りませぬ唯數回宴席や何かで會見したに過ぎない從つて ◆◆其の人物 をどうかうと云ふ事などは全く出來ないが予の印象を話すと氏は專門外の話しを

▼▼切のよい人 である事を直覺させる人で今後若し機會が許すならば互ひに膝を交へて大いに經綸を語り、共に何事をか爲たいと思つて居た矢先とて今此の訃報に接するは百年の知己を喪ふの感がある、實は昨年秋山大將が現職に轉せられた時も內地に歸つたなら多少樂になるだらうと思つて居たが兄（岡正奕氏）と弟（眞之中將）が病氣のため兩方の看護をせねばならぬので忙しいと言ふ

▼意味の手紙 をよこされたが間もなく岡氏は逝去された其後昨秋大演習參觀中彥根で大將にお目にかゝつた際眞之中將の病氣もやゝ輕快に赴いたと言はれて大層安心して居られたが間もなく兄岡正奕氏の後を追うて逝れたので大將も非常に悲嘆されて居るだらう、逸話に就いては餘り知らないが曾て星亨が米國公使として駐在中眞之中將も當時

▼▼大尉として 公使館に往つたがどちらも勉強家の剛情張りを來てゐるから書物の讀み競をしたなど言ふ話を聞いてゐた、又最近は我國體の精華を發揚するために神代からの古典を研究して日本古典研究雜誌などに筆を執つて神ながらの道の宣傳に努め、私にも每號送つて吳れたが獨り

▲▲海軍軍人として許りしても[illegible]の要點をよく摑む又海軍關係の事は別として其他の何事かを話してゐる

◆◆經濟的の 解釋を下さるゝ樣であつた又中將は卓拔な識見を有してゐたに拘はらず頗る平民的の人で一向氣取たり威張つたりする風はなかつたそれに常識が

◆◆誠に圓滿 に發達してゐるやうでした恰度昨年は長兄の岡正奕氏を失ひ又中將の訃に接するのは同家のために只だ氣の毒に堪へぬ所です

逝去せる秋山海軍中將

海底の搜索は出來ぬ

全州丸 麗水丸遭難地より歸る

一月二十四日木浦出帆[illegible]遭難地へ急航に向へる全州丸は[illegible]

◆◆河本全州丸船長と長谷川麗水丸運轉手の談 です何分海が非常の暴れで殊に現場附近は岩礁突起、濁浪狂奔と云ふ有樣で潛水夫の作業などには殆んど近し難い困難を感じたので[illegible]すも最初は潛水作業も

◆◆五分間こ は出來ないと云ふの考へでしたが驅命の努力を以てするので潛水夫も我慢に我慢を重ねて約三十分以上の潛水を試みたが何分濁浪である爲め[illegible]總ゆる苦心を重ねて出來る限りの搜索をしたが遂ひに何等の好果を齎らす事の出來なかつたのは誠に殘念で堪りません

◆◆搜索區域 は安眠島長古島附近は勿論遠く姑島燈島迄も限なく搜索の手を擴げ內波水島外波水島或ひは鹿島孤島と隨分の苦心をしましたが遂ひに遭難船の何物をも發見する事が出來なかつた只揷州島の西岸で

◆◆機關長の ズボン一着を發見したのと長古島の海岸に寫眞一枚を發見した許りで唯一つとして之と云ふ取り留めはないので[illegible]

◆◆若礁の間 に挾まつてゐる[illegible]ようとも云ひ或ひは潮流の加減で[illegible]

◆手掛りを 得ぬのですから[illegible]

◆救助船を 出すと云ふ[illegible]

預り金で遊興

一月二十五日より二月一日までの間に龍山大島町百三十六番地貸座敷[illegible]等々不相應の遊興を爲す者あり龍山憲兵分隊の刑事が怪しみ引致して取調べたるに同人は京城[illegible]の預金二百九十圓の引下げを命ぜられたる[illegible]を著服して[illegible]

◆開城の火事 四日午前四時開城大和町一四一番地[illegible]より出火したるを以て直ちに警官消防組[illegible]付け消防に盡力したるが火元[illegible]

◆肺結核豫防[illegible]

漢江の一部

渡船開始

[illegible]

◆火災二件 四日午後零時十[illegible]

一輪梅

『旦那樣はお留守でございますが……』 ハ、奧樣にでございますか暫くお待ち下さいませ』清楚な洋館建はひつそり閑として夜の色のみ濃い

◆辯護士と云ふ ◆社交的な繁雜に調まつて居る人の妻として相應しい內助にいそしむ賢實な大久保雅彥氏夫人を金文字鮮かな法律書、牡丹臺遠景の油畫、滿枝に花香る梅の軸物そうした裝飾華やかな書齋兼應接室に相對座して先づ其のつゝましやかなウオマンリーネスを感じる『子供は龍一と申しまして當年十一歲の男の子がタッタ一人でございます、只今は南大門小學校の尋常科五年でございますから[illegible]

▼まるつきり引込思案で

松山市から代議士に打つて出ました頃は隨分大騷ぎでしたが私共には一寸も分りません

―辯護士大久保雅彥氏夫人のおはなし―

[illegible]十年に成りますが今年の冬は取分けお寒さが嚴しい樣でございますね、宅にも六十九になります老母が居りますが朝鮮へ來ましてから大變健康でまだ一度も[illegible]

◆明治三十五年の事で 松山市から出ましたが[illegible]

課題募集規定

[illegible]

大阪期米

五日の四月限

連絡船上陸客

天氣 くもり後晴

市況

[illegible]

獨逸商品 陸續露都に入る
―露都最近の情報―

今次歐洲大亂の勃發後露國全般に亙つて本邦商品のはけ方は驚くべき數量であることは最早衆知の事實であるが又此の儼偉なる時代の味を忘れ難く何時までも日向がつてゐるやうに思つてゐると斷崖から突き落されるやうな痛い目に遭ふぞと云ふ憂慮も亦一般識者の夙に知る所だ、けれども實に驚くべきは如上の

◇憂慮が既に事實

となつて現はれてゐると云ふことである。獨逸が戰前の既製々品中さで戰爭に依つて需要を增さない種る例へば染料の如きを露西亞に密輸入してゐるとは大分舊い風說であるが、今日長春の某輸出入商に達した露都の情報によれば昨今露都に於いては盛んに獨逸品が流布されてゐるが就中靴、日用雜貨、藥類、藥品等品質本邦製品に勝ること勿論にして然かも値は其の四分の一位にしかつかぬと云ふから日々本邦品が

◇退却の跡を見る

は自明の理屈である。獨逸品はレッテルも新らしい意匠も嶄新で然かも仲々に品が豐富であると云ふが、藥品類中には戰前より貯へられし品にレッテルのみを貼り換へたらしいのもあると云ふが、サッカリンの如きは本邦品一ポンド六十圓（邦貨に換算して）程の賣價であるに拘はらず獨逸品は其の品質に於て其より數倍の濃度效力を持ち乍ら十圓位で賣られつゝありと云ふ、爲にリガ方面を通過する獨逸の物資の積荷は陸續として動きつゝあると云ふが唯我より觀て多少とも樂觀材料とすることは此の獨逸品が果して何時まで續き得るかと云ふ一事だが今日迄

◇干戈の戰に於て

列國の此の唯一の樂觀を日々打こはしてゆく所を見ると此の商戰に於ても恐るゝに足るものありと思はれる。本邦貿易業者が日々得處し得らるも猶ほ遠い先方の事の如く心得てゐた事實は既に著々と現はれつゝあるのだ或旅行者の說によると獨乙商品は滿洲里を越して近く哈爾賓に迄入つてくると云ひ中には既に來てゐるだらうと傳へる者さへある

鮮銀特殊機關に就て

奉天に於ける鮮銀美濃部總裁の談に曰く『朝鮮銀行は此の四年間に滿洲に於て十五店の支店及び出張所を設けるに至り今後益々其の責任が重大となるに至つた、猶ほ近日上海にも支店を設け來る三四月頃より開店の運びとなるであらうが追てはまた天津、北京にも進まねばなるまい、鮮銀が日支提攜の實をあぐる爲め別に特種の一機關を設けるといふことは今猶ほ計畫中であつて其目的の話はなし能き兼ねる次第、猶ほ當行が本來の商業銀行たる立前の他に獨逸などで行はれる如き事業の經營並びに不動產銀行の如き業務に携はるを云ふ事は滿更考へぬ譯でもないが目下研究中に屬し言明することが能きぬ、兎に角大方の御援助によつて滿鮮經濟上の連結を一層密接に致したいものである』と

電話架設決定

黃海道兼二浦は三菱製鐵所の事業進捗と共に長足の發展をなし目下日鮮人を合して人口約一萬二千餘に達し逐日增加の傾向あり從て京城仁川及び平壤鎭南浦との商取引を追うて繁劇を加へ來れるに拘らず未だ市內に電話の架設なく商取引上不便少からず其筋に於ても已に公衆電話を架設すべく內定し居れば兼二浦郵便所長[illegible]一氏は市內有力者の援助を得て公衆電話加入希望者を調査したる結果百十二名の希望者を得たれば去る一月二十四日附を以て兼二浦居住民有志總代木村林次郎、池田泰吉、大橋房之介、福田榮次郎、八木吉彥の五氏より朝鮮總督に宛願書を提出せり

金塊移出空前減

本年一月貿易は昨紙記載の如く空前の旺盛記錄を作りたるにも拘はらず其反對に移出金塊が空前の大激減を呈し稅關開所來、未見の計數を示せるは面白き對照と云ふべし則ち一月中の移出金塊價額は僅々三萬五千圓にして其移出は二回に止まり取分け十七日以後の移出絕無なり今之れを昨年一月中の移出額十六萬一千圓に比すれば實に十三萬一千圓の激減なりしが兎角昨年來移出金塊の減退傾向あるは鑛業界の變遷即ち黑鉛鑛業の盛大は相率ゐて金鑛採掘に影響し且つ又彼の遂安金塊の移出は其搬送の方法と徑路を變更し小包郵便法を利用するなど平壤通關の移出は漸く減退を來し加之客臘來稀有の寒氣は著しく稼業を妨げたる等彼此れ相綜合して一月移出は前記の不成績を致したるなるべし

簡易製法發見
◉慶北の生石灰

果樹の病蟲害驅除豫防用として生石灰の效力は近時著しく之を認められ年々其の需用增加し居れるも之を日本內地より購入する時は多くの時間と多額の運賃とを要し目下大邱市場に於ける相場は叺入一（ボンド）三十錢（四貫目）[illegible]にして一時に[illegible]十五錢に相當し[illegible]其の買入を爲すも一叺入の方法を以て一時に[illegible]上に當り栽培者に於ては大に[illegible]を感じつゝありしが慶尙北道に於ては兼て之が製造方法に就き種々研究中の處今回道當局に於て[illegible]方法に依り消石灰の製造方法を發見したるより生石灰を用ひずして[illegible]何なる設備をも要せず[illegible]の製作は何人にても製作するを得且つ其の價格の點に於て製作用の燃料其他一切の費用を合算して僅五錢內外に上る原價に依り之を製作し得らるゝ由なれば若し此の方法一般に普及さるゝに於ては果樹栽培者に大なる福利を與ふるに到るべしと

三菱水道工事竣成

兼二浦三菱製鐵所水道工事は去る大正三年七月より起工せるが客年十二月二十四日本工事竣工を告げ同日幹線の通水式を行ひたるが故障なく通水したり該水道は黃州郡黃州水源池より兼二浦製鐵所に至る延長八哩三分にして水管は大日本木管株式會社の請負にかゝる木製管なるが目下管の喚氣侑存し剩へ混濁あるため當分の間飲料水として給水せず洗水其他の雜用に供しつゝあり而して本水道の送水能力は一分間二百五十立方尺（約三十八石）にして水源地より約三時間にて配水し得べく飲料水として供給開始に至れば現時三菱社員の增加に伴ひ一分間六百立方尺に水量を必要とする由にて所謂一分間四百五十立方尺の給水は[illegible]事後ならでは市中への給水は無望なりと

阿片密賣取締

近來滿洲の奉天附近には朝鮮人の阿片及モルヒネ密賣者の[illegible]さるゝ者[illegible]犯人の中には[illegible]の[illegible]あり[illegible]も改悛の[illegible]なき者あるも中には[illegible]法に觸るゝを知らずして朝鮮より[illegible]入する者多く近來[illegible]增加せるは頗る遺憾の[illegible]となり遂ほきたる先日奉天總領事館にて臨置せられたる者の如きは數年前より西比利亞のイルクツク市に在りて數千圓の貯金せるものありしが昨年相場の下落の爲め所持金の大半を損失し遂に困じて哈爾賓まで歸還せるも同地にて旅費足らざる爲め人のすゝむるまゝにモルヒネを買ひ求め歸鮮の[illegible]にせんとして奉天にて捕へられたる者にしてかゝる[illegible]も尠からざる由なるが一般鮮人は注意すべきことなり

外人入國手續

朝鮮總督府にては今回外務省發布の外人入國令に準じ之れを實際の運用を保つ必要上近く府令を發し外國人入國及び通過等に就て必要の手段を取るべしと

兼二浦金利

黃海道兼二浦に於ては未だ銀行、金融組合等の公的金融機關なきため金利の如きは全く無法外の高利にて通常貸借月一割二分にして質屋業者中に於ても百圓未滿は七分乃至八分の金利を取り居れり三菱[illegible]所長の如きも何とかして銀行業の開設を見たきものなりと語り居れり

大連より

○大連官民有志百餘名は二月一日ヤマトホテルに盛宴を張り滿鐵用度課長秋山[illegible]氏を招待し君の大著[illegible]の成功を祝し其の國文學史上に偉大なる貢獻を賀した[illegible]

○淨瑠璃に關する研究は從來甚だ[illegible]あつたが然し[illegible]して文學としての研究であつたがしかしそれも徹底的に研究を遂げたものは殆んどなく近松門左衞門に關する研究を除きては他は殆んど云ふに足らざるものである

○秋山氏の新著を見るに上卷に於ては淨瑠璃の起源を說き進んで其の時代に於ける[illegible]に三味線の由來及び傀儡子の起源を詳細に論じて淨瑠璃に關する記錄を網羅蒐集して居る

○次で其太夫の起源と太夫の名稱に關しても極めて詳細に蒐錄し淨瑠璃の文章及び江戶時代に於ける諸太夫の系統を詳細に記述し此の時代に於ける繪畫數十葉を集めて鮮明なる挿繪として[illegible]下卷には淨瑠璃の起源に就き科學的の研究を發表して居る之れ氏が最も力を集注したる處であり別に各派太夫系圖表四葉を附して居る氏は此の著述の爲めに十餘年を費し數千卷の古書を涉獵參考したと云つて居る

○斯くの如き大著作は專心從事すると雖も容易に成遂げ難き處であるを氏は極めて繁忙なる大會社の用度課長の餘業として成し遂げたるを見て氏の偉大なる精力に感服せざるを得ない

○氏は此の著作を內地に於て印刷するは校正上の不安ありと爲し滿日社に託し滿日社も亦氏の熱心に動かされあらゆる努力を注いで本書を成すに至つた此の原稿が滿日社の工場に渡つてから一個年餘を費したと云ふ事だ

○此の夜ホテルに集まつた人々は何れも滿洲に於て斯の如き名著の表せられ日本文學史上に滿洲に所縁の文學が特筆せらるべきを慶賀し合ひたり

滿洲の眞價値と安東
本行は其趨勢に順位す
―美濃部鮮銀總裁車中談―

大連奉天方面旅行中なりし朝鮮銀行美濃部總裁[illegible]秘書役一行は二日早朝五時新義州に迎ふ長途の旅行にて夜來の勞未だ醒めず[illegible]なりとの故に新義州を過ぎ[illegible]に入らんとする時漸く車室を訪へば早や身仕度の正裝しく些か疲勞の様子もなく左の如くして語られき

▲滿洲の眞價値

十日間許りの旅行で而かも多忙の間に往復したので十分の視察が出來なかつたのは殘念でありますが昨年から本年にかけて滿洲は何處と云はず一體に景氣が良い樣であります、奉天なども建築と云ひ新築と云ひ著々として稍々大きなものが進捗して居る樣に見受けましたが邦家の爲め誠に喜ばしい事であります一時滿洲は不毛の地である、經濟價値は見るに足るものがないとか云ふ議論が朝野に喧傳された事もありますが夫れも今日では早や一場の杞憂に過ぎなかつたと云ふ事に歸著して仕舞ひ益々將來前途は有望である事が判明し確證を得たのは眞に國家の爲め同慶に堪へぬ次第であります

▲滿洲富源の開發

此前途有望將來刮目に値する滿洲大富源を開發するには交通運輸機關の完備とか何とか種々の方法もありますが差當り私共の業務として何處まで事業資金の供給を圓滑にするが第一で最近更らに從來正金銀行に於て行はれたる金券發行及び其の統一、金庫事務繼承等漸を追ふて業務も擴張してまいりましたから其の責任も一層重大を加へた譯であります、現に角此の廣茫たる滿洲の大平野の富源開發に要する資金は決して尠少なるものでは足らぬと云ふ事を自覺して居なければならぬ、從つて從來の店舖數のみでは其の普及と圓滑とを缺ぐの嫌ひあるを認めましたから最近に於て鄭家屯に一支店を設置する筈であります、其の他は必要に應じて增設する考へです

▲正金引揚と鮮銀

安東も近來非常に盛んな樣でありますが正金銀行の引揚げは多少財界に恐怖の念を與へた樣でありますが、之は私共の用意周到を缺いた點からだと深くお恥かしく思ふ處でありますが其の後內容も十分承知致しましたから鮮銀としては飽迄上の大目的を達成する爲めに大に努むる覺悟でありますから安東市場には將來些の動搖不安の感念を與へる樣な事は萬々ない事と確信して居ります、のみならず進んで道利富源開拓の重大なる責務のある本行としては安東に於ける諸事業の進捗財界の膨脹市場の趨勢に順應して何處までも金融の圓滑を期すると云ふ方針でありますから安東市民は何等の顧慮なく彼懼なく多々益々健闘されん事を祈るのみであります

▲安東特產の將來

安東特產物の大宗たる材木は將來益々活動の舞臺が廣くなり、又柞蠶絲の需要も一躍して世界的となり其の產額も支那現時の政策から見へば誘導獎勵大に努め居る樣であるから益々多くなるに相違あるまい、大豆雜穀類も其他に伴ふて是れ又年々增加するであらう、而かも木材柞蠶等は漸次安東に於て加工され精製されて市場に上る現象の極めて顯著なるは將來安東財界の發展と安全と進展を意味するもので是等に對しては本行として特に注意を拂はねばならぬ所と思ふ、要するに安東の將來は實に多事多忙で眞に刮目に値するものがあると信じます。

仁川米豆取引所

[illegible]大阪下寄りを受け當二十圓二十錢[illegible]二十一圓四十錢と六錢安に寄付[illegible]も買物多く三錢を返し二錢二[illegible]

△中限二圓二十一圓三十錢二十八錢九錢平均値段二十九錢三厘二十八錢二十錢十五錢平均値段二十三
[illegible]十九錢四[illegible]二十九錢[illegible]八錢三十錢二十八錢七錢八錢七錢六錢五錢六錢七錢八錢七錢八錢

株式會社百三十銀行 第卅九期營業報告 貸借對照表

資產	金額
拂込未濟資本金	[illegible]
諸貸出金	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
仕拂承諾見返	[illegible]
預ヶ金	[illegible]
有價證券	[illegible]
營業用土地建物什器	[illegible]
所有動產不動產	[illegible]
雜勘定	[illegible]
現金有高	[illegible]
合計	[illegible]

負債	金額
資本金	[illegible]
法定準備金	[illegible]
諸預り金	[illegible]
仕拂送金爲替手形	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
仕拂承諾	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未拂利息	[illegible]
未經過割引料及	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定
金四拾八萬九千貳百拾圓四拾九錢 當期純益金
金五萬八千八百[illegible] 配當準備積立金
金六拾萬八千[illegible] 前期繰越金
金[illegible] 法定準備積立金
金[illegible] 別段準備積立金
金[illegible] 配當金
金[illegible] 後期繰越金
計金[illegible]

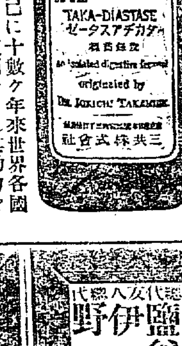
大正七年一月
株式會社百三十銀行
取締役頭取 安田善三郎
取締役 [illegible]
監査役 [illegible]
監督 安田善次郎

大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我三郎商店
電話[illegible]

本月末暴騰に終れる株式界一月初めに至り幾分氣配腰折れ然るも見へ候へ共[illegible]
御依頼は何時にても御熟考の上御下命の程願上候
京城永樂町二丁目
公債株式現物賣買
有田長
丸五
電話一四九六番

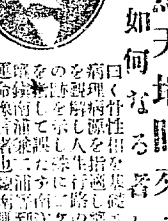
古著古洋服
諸物價騰貴の折柄多少に不拘早速御報次第電話にて御伺ひ可申候又はハガキにて御報知被下度候
京城本町二丁目
江頭衣服店
本店電話一三五番
支店電話九一七番
あはじや

タカヂアスターゼ
タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり
外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社が北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各地に之を供給せり
タカヂアスターゼは已に十數ヶ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其効力を確認せられたるものなり
醫藥としての最大要素は多數醫學者の實驗成績が効用の論理と合致し使用者をして何等の顧念を挿むの要なからしむる者なるに在り
本劑の聲價隆々として世に高きを羨み徒に本劑の名を冒す類似模造品あれども其品質效力素より同一視する價値あるものにあらず、醫學者實驗報告書無代郵呈す
東京室町 三共株式會社



京城南山町三丁目(電氣會社横路入る)電話二九二〇番
橋本齒科醫院
日本齒科醫學士 橋本潤次郎

坩堝用黑鉛 高價買入
（番號の方見本御送附あれ）
門司市[illegible]三丁目角
門司グラファイト製煉所

如何なる者か
美馬天地眼來る

運命鑑定者 美馬天地眼
京城本町[illegible] 旅館
一代の運命[illegible]

撫順炭特約販賣
京城府南山町
實榮商會
電話一〇七番

難病撲滅健康增進の祕訣
精神統一法教授書
江藤旭洲

京城商業會議所編纂
大正六年 朝鮮經濟年鑑
京城日報社代理部

恩給年金立替
開業
京城本町一丁目

二女安子[illegible]

[illegible]死去致候此段御通知申上候
大正七年二月五日
中西瀧太郎
中西九一郎
鹽谷秀三郎
伊藤正次
野田二郎

當商會支店長中西瀧太郎妻りき事五日死去致し候に付き此段御通知申上候
大正七年二月五日
京城本町二丁目
京都商會 大京城支店

左甚五郎

第百六十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

火事喧嘩、大名小路、廣小路、茶店紫、東、錦繪と云つて喧嘩は江戸の花だといふが、吉原土手の只中で鐵棒組と吉也組の大喧嘩、火花を散して打合つて居る處へ港屋から駈付けて來る兵藤平内、大勢を押分けて其處へ進み『平』三浦氏には初めて御意を得る。拙者は兵藤平内でござるが、手前のことより貴殿へ迷惑をかけては相濟ん。此出入は拙者が引受けましたによつてお引取りを願ふ』吉『其許が兵藤氏でござつたか。未だ一面識もござらぬが其の御挨拶は御無用。例へ人違ひにもせよ目指されたる拙者であるから此の場を引退る譯には相成らん』平内は面倒と思ひまして故一刀を拔いで大島源五兵衛へ斬つてかゝる源五兵衛も詮方なく平内と打合せる。是を見て鐵棒組の奴輩、ソレ平内を殺してしまへとムラ／＼かゝりに打つてかゝる。是を見て三浦吉也『吉』ソレ兵藤氏に怪我をさせてはならん、鐵棒組の奴等を打据ゑろ。吉也組は望む處と各々得物／＼を押取り提げ、鐵棒組の中へ割つて入り右左りへと打倒す。茲に至つて流石に廣き吉原土手も往來を塞ぎ、倒れつ突れつ血まぶれになつて打合ふ有樣は戰場に斃しく、往來の者は見物所ではございませんワツワと云つて逃げ迷ふ。三浦吉也兵藤平内は何れも腕前の出來て居る人。故イザとなれば二十三十の者は斬捨るに仔細は無けれど、あたら人命を損ふも無益と思へば多くは峯打にいたしました。生死は分たず打仆れし者は山を爲すばかり。處へ土手下よりワアツと云つて發つて參りましたのは此の喧嘩を仲裁をしやうといふので、唐犬權兵衛、夢の市郎兵衛、放駒四郎兵衛、金神長五郎、釣鐘庄右衛門、其の外蟬の秀郎吉、芝の新兵衛、神田の助兵衛、出ッ尻の清兵衛、錚々た名前はございません。五六十人の町奴が其處へ參つたが、先に立つた權兵衛市郎兵衛大手を擴げ『市』ヤア此の喧嘩は俺共に任しておくんなせわ、及ばずながら扱ふからには貴下方の顏は潰させねえ何うか俺共の面を立てゝおくんなせわ』小次郎平内はそれと見るより刀を引いて後へ退り『吉』是は／＼親分衆、御仲裁下されて忝い。素より仕掛けられたる喧嘩拙者の方より事は好まん、宜しくお扱ひ下さる樣』權『早速の御承知俺共の顏が立つて落ばしうございます。大島先生は如何で『源』先方で任せると云へば拙者の方にも異存は無い。宜しく頼みます』双方共異存が無いから任せると云ば譯る譯でございます、茲に仲裁をして夜が明けては面倒と思ひ怪我人なぞは引取つて手當を加へ、血でも流れて居ては叱んから水を流せといふのでドン／＼水を流したから宛然大夕立のあつたやうで跡は清潔になりました。是だけの騷ぎですから上役人の知らんことは無い。然し事濟みになつたといふのであるから別にお咎めもありません。唐犬權兵衛、夢の市郎兵衛が骨折で金なしやう、一層の事で始まつたのだから、港の金子が宜からうと云ふので拙者共の金子といふ料理屋で仲直りがございました。仲直りにも法があるといふことですが、大略いたして申上げます。愈々仲直りとなれば常つて往けるの例へで兵藤三浦大島の三人は兄弟の媾く睦じくして居りました。土手節と云つて三浦吉也が作りました唄に

かゝる山谷の草ぶかけれど、我が住家と思へばよしや、徐所の見る目もいとはぬ我が身に、お笑ひやるな名のたつに

といふ唄を作りましたので、三浦吉也は名前で揚げましたが武張た中に憶つした侵しみのあつた人です。猶吉也行燈なぞといつてその風が殘つて居るものもありますが只今は電燈を點する世で行燈も無くなりましたが吉也の名は今日にいたるまで遺つて居ります

二月七日九星

演藝案内

京城本町 電話一〇五〇 壽館

午後五時開演 喜劇曾我廼家第二蝶々會一行

一番目 笑劇 茂無草 二場
二番目 笑劇 しげちやん 二場
三番目 喜劇 寶の入船
○外に奇術

稻荷座

黄金館 電話二三六三七・二三六六

壽座 電話五七八番

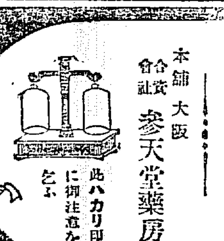
有樂館

浪花館 電話二六〇番

大正館 電話八七三番

寿疾專門
京城明治町二丁目(本町より入る中程)
京城久枝肛門病院
大阪院長
電話二一〇二番

拙者は
かぜの神である。年中あらゆる人間の油斷をのみ覗ふてゐる、而も今は拙者の最も得意の時候だから、ドシ／＼腸窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中で輕く侮る奴は容赦なく殺して了ふ。
然しハカリ印の〈ブリン丸〉は拙者唯一の強敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち撃退されて了ふ。
實にハカリ印の〈ブリン丸〉には流石の拙者も兜を脱がざるを得ないのである。

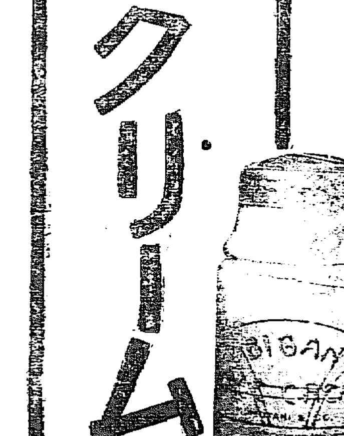


本舗 大阪
合資會社 参天堂薬房
此ハカリ印に御注意を乞ふ

高貴御用品の内

美顔クリーム

發賣早々非常なる好評!!



定價一瓶二十五錢

御内意によりて創製したる美顔クリーム

美顔クリームは皆樣御承知の通り、美顔洗粉と共に或る高貴の御係から、御内意を蒙つて創製したる名譽あるクリームであります。

殊の外御意に適つた二箇條

色の白い事と、質の輕い事は舶來品以上であること、殊の外御意に適つたクリームであります。

ホンに理想のクリームとはこんなもの

普通のクリームには、多少ネバリ氣がありますが、原料から違つた美顔クリームには、少しのネバリ氣もなく、サラ／＼として、つけた後の氣持のよいこと、ホンに理想のクリームとはこんなものかとお思ひになります。それに配合の妙を極めた芳香は、百花の園に遊ぶが如き思あらしめます。

桃谷研究所試驗所自慢の製品

從來クリームをお使ひになつてゐる方であれば、一度使はれても、成程これは良いクリームであること、ハツキリお分りになります。

美顔クリームの用法

(一)素顔の美
素顔の美を養ふ第一の必要品として、歐米各國では、結構なクリームが盛に用ひられてゐます。入浴、洗面後、美顔クリームをお顏の地へ、よく摩込んで置くようにすれば、皮膚を軟かにし、荒れを防ぎ、地膚を整へ、つやをよく、キメを好くし、素顔を美しくするに偉大な効果があります。

(二)お化粧下
お化粧下として結構なクリームの必要な事は、今更言ふまでもありません。長時間のお化粧の美しさを保つのに是非無くてならぬ美顔クリームを、皆樣のお化粧用にお薦め申し上げます。

(三)新化粧
美顔クリームを下地に引いて、白粉を刷き付ける新しい美しい新化粧法をお試し遊ばせ。

■美顔白粉、美顔水、美顔ユーマー、白色美顔水
■美顔洗粉、美顔石鹸、美顔クリーム

發賣元 桃谷順天館

東京市日本橋區本町四丁目(電話本局一六二六・一六二七・二三〇番)
東京市麹町區有樂町一丁目(電話新橋二六三九番)實驗部
大阪市西區靱南通二丁目(電話土佐堀六四七・六四八番)

京釜線(南行)　同(北行)　湖南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京仁線(仁川行)　京元線(北行)　同(南行)

第五版
京城日報
二月六日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六十錢
廣告料金　五號活字一行金…
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社

仁川期米

五日後場　大阪下寄りを受け當二十圓二十錢先二十一圓四十錢と六錢安に寄付たるも買物多く三錢乃至二錢返し二錢二…
△後場當限二十圓二十錢二節…△中限二節二十一圓三十錢二十八錢九錢平均値段二十一圓二十九錢…八錢二十錢十九錢平均値段二十一圓二十三…

仁川米豆取引所

…

遊支偶錄

蘇峰生

（廿四）日本人を利用せよ

日本人は、自國を豐葦原瑞穗國と稱し、獨り自から造化の寵兒を以て任ずるも、そは唯だ自分免許の寵兒にして、比較研究の上より見れば、普國程には參らぬ迄も、先づ不寵兒と云ふ可きに庶幾し。風景の佳麗なる丈は、間違なき事實なれども、其他の天賦地惠に於ては、隣國の支那とは、到底較べ物にならず。乃ち支那の如きこそ、始めて造化の寵兒とも云ひ得可き資格あれ。

支那に於ける最古文書の一たる禹貢を讀めば、如何に上代に於て、支那の富庶にして、物資の豐饒なりしを知るに足らむ。今日に於ても、支那が貧國なりと云ふは、唯だ政府の貧なるを意味して、支那の貧なるを意味せざる也。若し天賦の資源に就て、支那と對照せんと欲せば、先づ北米合衆國に若くはなかる可し。長江流域の土地の豐沃にして、且つ鐵、石炭等の鑛物に富むは云ふ迄もなく、山東省より山西、陝西にかけて、地下の富は、恐らくは想像の及ぶ能はざるものあらむ。予は今度山西省の一部を旅行したるに、石炭の層が、地上に露出したるを見たると、一再ならざりし也。支那の憂は、富源なきにあらずして、之を開發せざるにあり。而して之を開發するは、支那を利し、且つ日本を利する所以たるを知らば、兩者の經濟同盟は、寧ろ自然の勢に驅應するものにあらずや。

支那人が欲するにせよ、欲せざるにせよ、餘儀なき必要は、日本自衛の爲めに、日本は支那の資源に賴らざるを得ず。既に此の必須の情勢を知らば、支那人たるもの、自から進んで、日本人を利用するに若くはなし。即ち敵として待遇せず、味方として待遇するは、日本人を利用する最善の策にあらずや。

戰後の海運
競爭に對する各國の準備（一）

『タイムス』貿易附錄昨年十一月號は各國の戰後海運業の競爭に對する準備を論じ英國民の覺醒を促がせり其の要旨を紹介せんに先づ英國海運業が常に他國の上にあらざる可からざるは獨、米の如き國家に於ては國內に多額の穀物を産出し國民は自立の經濟を行ふを得るが故に輸出入の必要を感ずる事切ならざるに反し英國に在ては他國に比し穀物の産出少く而も其の製造業に於ては遙に他國に冠たるものあり從つて常に多大の食料品及び原料品は之を輸入に待たざるを得ざると共に其の輸入決濟の爲め更に多額の製造品を輸出せざる可らず斯る國家に在ては大船舶國たるの特別なる經濟上の必要を感ずると共に其の繼續を有するものなりとの冒頭を置き次に英國の海運界の將來は他國の競爭と其の競爭に對抗する英國の努力如何に依て決せらるゝものなるが幸にして英國は從來の優勢なる海運を支持するに必要なる天然資源、地理上の地位、經濟上の狀況、産業上の能力等に於て卓越せるものありと雖も玆に看過す可からざるは他國に於ては其の海運に對し政府の莫大なる補助金制度の存する事實なり而も該補助たるや戰後に至て更に大なるものあらんとする狀勢を示せり是を以て若し英國にして

△職工は其の賃金强要の弊を改めず造船業者技術者互に相協同せず政府者も亦之に對する過去の不注意を改めず且つ過重の課税を廢止せる事なくんば他國の保護政策に對しては海運界の優勢を期する事決して望み得べき所にあらずと斷じ進んで獨、米、日の海運準備に論及せり

一、獨逸

獨逸に於ては最近獨逸商船再興案なるもの帝國議會に提出せられ昔日の補助政策を更に大規模に復活せんとせり三十年以前の獨逸は大洋航行汽船五十萬噸を有せしに過ぎず而も其の大半は英國の建造に係るものなりしが戰前に於ては

△五百五十萬噸に增加し而も其の大部分は自國製より成れり此の驚く可き進展は獨逸が經濟的に船舶の建造に對する資源の豊富に基くものにあらずして實に各種の補助金制度に基因せるものなる事（一八八〇年代に至り貿易業者特に鐵類生産の職工を國內に招致すると共に銀行をして造船業者に特種金融の便を開かしめしが一八八四年に及び船舶補助金法を制定して自國貨物の運搬に從事する自國製船舶に補助金を交付することとし更に一八九〇年代に至り貿易業者特に鐵類生…外交官を使役して貿易業者海運業者の利益の爲に斡旋至らざる所なかりき獨逸は其競爭者を絕滅せんが爲には商業に於ても其の戰爭に於けるが如き其の國民を結束して是に當れり之に對して英國は何等其の海運を保護せずして市場を…顧を想起せば政府今回の補助金法案は刮目して見る可きなり抑々獨逸の海運發展なるものは一八八〇年代に於て開始せられ或は技術者及び職工を外國に派遣し或は他國…産者の『シンヂケート』は其の組合員に對し

△莫大なる輸出奬勵金を與へ他方政府は國有鐵道及び運河に依る輸出品に對しては半額の賃金を課して之が運搬に當ると共に…

…獨逸の投資に開放せしのみならず補助金の保護ある獨逸船舶を其の港灣に出入せしむるに當り是に對し埠頭使用料等の經費に對する何等の分擔をも命ぜずして措まれ其保護金に依る不當なる運賃の下に英國乘客を搭載するを許容したり戰後の海運に關し今日英國を稀ふる者あり是れ敵國が驟況せる經濟的侵略に對し「Ton for ton policy」なるものを稱ふる者あり是れ敵國が撃沈せる噸數に相當する噸數を敵國より提供せしめんとするものなるが戰爭中に莫大なる補助金の下に建造せる敵國に對抗して英國海運の發達を期せんとせば嫩底政策のみを以て滿足す可きにあらず更に特別なる手段を講せざる可らず（朝鮮銀行調査局調査）

懸賞 防寒建築案募集
解氷期近づき建築の季節來る 內地人住宅の研究改良を要す

在鮮內地人の住宅が、其防寒施設に關しては全然到る所格段の注意を拂はれたる跡もなく、宛ら寒地の建築物として甚しき缺陷に富めるは遺憾極まる事である。今や朝鮮は漸く解氷期に近づき、建築工事の季節に入らんとす。我社は此の機會に「防寒施設建築案」を全般に募集し、衆智を集めて拔き、朝鮮半島の寒冷に對抗し得る新式建築の範を示すべく、而して向後朝鮮に於ける內地人住宅建築の研究改善を計り、防寒暖房の施設に特別の研究計畫を擁ふ可きは勿論、家屋の建築に當り一面衛生、防火の考案と研究とは最も重要なる附帶問題である。故に防寒―衛生―防火の三要件を具備し、且建設費用は低廉にして中流者の實行し得る底の提案を歡迎する。左に應募規定を掲げて提案者諸君の參考に資すべし。

應募規定

（１）一人一案に限る（２）應募者は提案説明書に…き中流家庭の住宅を標準とするも、敷地、材料等は特別に…査に價す（３）應募者は必ず一葉の平面圖、側面圖及び…を附せられたし（４）應募者は其提案書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し入選の場合紙上發表の際は希望に依り匿名にても差支へなし（５）締切期は來る三月十五日とす（６）發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄提案書、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す（７）應募者は「京城日報社編輯局宛」に送附し封筒表に必ず「防寒建築提案」と朱書ありたし（８）提案原稿は返戻せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の賞品を以て我社は發表の當日謝禮に贈呈す

一等（一名）金百圓　二等（一名）金五十圓　三等（二名）金十圓宛

審査委員諸氏決定

現に京城に在りて建築、衛生、防火等の職務に從事せられある左記列席の大家諸氏は我社の懇請を容れ審査委員として一般提案審査の任を承諾せられたる事は我社の光榮として各位に感謝する所である

◇審査員長　朝鮮總督府醫院長　芳賀榮次郎氏
◇建築審査員　朝鮮總督府技師　池田賢太郎氏　陸軍技師　國枝博氏　朝鮮總督府技師　岩井長三郎氏
◇衛生審査員　朝鮮銀行技師　中村與資平氏　京城醫學專門學校教授　佐藤剛藏氏　京城醫師會長　和田八千穗氏
◇防火審査員　總督府警務總監部保安課長　國府小平氏

どうして

布施生譯

六十二

愈搜索方針の相談に纏ると股は一寸首を捻つて『どうだい君、一つ南京街へ手を入れて見やうぢやないか、…てさ』蘇柄は頭を傾けて『いやさりや如何でもいゝがね、…南京街には隱れてゐさうもありませんせ、何しろ入日に晒し娘を作れてゐるのですからなあ、南京街なんかに隱れやうものなら直に嗅ぎ付けますからなあ、それは奴等が一番閑口でしやうから』『成程ね、それや君の言ふ通りだ』『南京街と云へば噂の關屋だからな』『尤も娘に假裝でも爲はせてゐたならば別でしやうがね、今の處あの娘は親手に取つて大事の金箱でさあ、うまく取引が濟む迄は然に無作にも食はさずに籠入にして置かなくちやならんのです、何しろ奴等があの娘を作れて逃いたのはそれを種に武烈家の主人から金を揺る目的に相違ありませんからね』『さうだ、兎に角まあ其樣目的に相違ない、あの主人は富豪だからな』『何とかして國外へ逃げる金だけでも取てゆく心算だらう』『南京街に居ないとすると外の盜賊街には彌更居ませんね、何しろ人目が怖いのですから、如何です一つ場末を探して見ましやうか』『なあに田舍には居ないだらうよ、目的が目的の上に田舍ぢやあ矢張り人目に附かあね、眼の多い都會に隱れるのと同じ事だ』『ぢやあ何處へ往つたでしやう』探偵長は少時沈吟したが軈て徐に拱いた手を解いて『さあ僕の考はまあ如此だね、武烈君の言ふ通り奴等が娘を誘拐したのはそれを種に武烈家の主人を强迫する心算に相違ない、だから奴等の目は始終主人に注いでゐるし奴等の作戰計畫も主人中心だ、假に玆に銀行へ目をつけた盜賊があるとする、其の盜賊は大抵其隣邊に家を借り込んで坑道でも掘た上それを傳つて目的の金庫へ手を懸けるだらう、でなければ金庫の番人を手馴附るか、兎に角金庫の周圍を彷徨てゐるに相違ない、今度の奴等も矢張りそれだ、武烈家の傍へ陣取つてゐるのだから能度同じ事をやるよ、だから若し吾々の方に時間があれば今ここを隱れてゐるが其內何時か出てくる』『悠長らしいな』國栖は怨然として『時間なんて有りませんや、假にも若い娘が一人誘拐されて居るんですものを』探偵長は押返した『なあに時間があればさ、ねえ君、そんな悠長な事は到底出來ない、仕方が無いから少しあの邸の周圍に手を入れて見やうと思ふんだ、どうも君、奴等はもうあの近所へ來て居るんださ、どうもあの近所にゐるんだせ』『でも僕はあの邸の周圍を街を取つて居るんですせ、近所の事は一から十迄知抜いてゐますがね、あの附近には奴等が二日と隱れてゐる所は有りませんよ、況してもう二週間になるのですもの、横町になると猶更ですあ、僕は横町の家なら殆んど軒別に名前まで知つてますせ、でも探偵長が其の御意見なら一つ仰に隨つてやつて見ましやうか』『そして呉れ給へ、偵律には別に南京街を探らせるから、何乾度苦勞の仕甲斐はあるに相違ないよ』『畏りました、處で探偵長貴下は』『僕かい、僕は又僕の分擔で働くからね』

◇雜誌抄

◇星の數（現代の科學）　ライン氏の見積によれば強光星の數は三千三百萬なりといふ（チャプマン氏によれば約三千萬）この數は二十等迄の星にまで當嵌るもので星の總數を計算したるに三十三億六千萬個なる結果を得たり（チャプマン氏に依れば約十億）

◇監獄成金（探偵雜誌）　池袋監獄では千四百餘人の囚徒中七百餘人は本田農場で採炭の作業をしてゐるが一日一人平均五十錢より二圓以上にも上るので千圓以上の貯金を持つて出る囚人があるさうだ誠に呑氣な噺だが淸水國彥の醜である

生徒募集

本校生徒左記ノ通リ募集ス　詳細ハ本校ニ就キ承合セラレタシ

土木科第一學年　拾八名　建築科第一學年　拾貳名
電氣科第一學年　貳拾名　機械科第一學年　廿五名
採鑛科第一學年　廿五名

一入學者資格　年齡滿十四年以上二十年以下（滿二十年ヲ含マス）ノ男子ニシテ小學校卒業又ハ中學校第二學年修了若クハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者
一出願期日　大正七年四月五日限リ
一出願手續　入學願書ニ履歷書及出身學校長ノ學業成績證明書添付ノ上本校ヘ申込ムヘシ
一入學試驗　大正七年四月七日、八日、九日
一受驗心得　…

大正七年二月
南滿洲工業學校

同志社大學豫科政治、經濟部◎英文科◎神學部
同志社女學校専門部（英文科・家政科）普通學部
同志社中學
各科生徒募集　入學志願者は四月五日迄に申込む可し…
一年級百四十名募集
規則入用は郵券二錢を要す
京都市上京區　同志社

地圖部移轉廣告
今般各位の御便利を計り左記の處に地圖部開設仕候間不相變御用命の程願上候
土地調査局御蓋　陸地測量部發行
追而當出張店にては地圖に限り販賣不仕候條右御含み被下度候
京城長谷川町八六（朝鮮ホテル入口）電話一壹一三番
小林又七朝鮮地圖部

高麗朝迄の部
新朝鮮錢史　乾
定價九十錢　送料二錢
著者の古錢研究に沒頭する十年今や其秘と其見識とは一方の權威として斯界に推稱せらる
本書は錢貨學 Numismatics の見地より編纂せるものにして啻に貨幣史として古錢家の寶書たるに止まらず考古學上好個の著述なり殊に其收錄の錢圖は近時發見の珍貨を網羅し著者秘藏のもの尠なからず其高麗鑄造の金銀及鐵錢等に關する創見は愛泉家の蒙を啓くや大なり
販賣部數僅々百部に過ぎされば至急本代理部に申込あれ
發賣所　京城太平通一丁目　振替京城七〇〇番　京城日報社代理部

◎金庫ポンプの熊平は文洋家具の熊平とも言はれる
熊平支店　京城本町　電話一一三五　振替京城二六二四番

保險金受領廣告
一金參千圓也　被保險者　御崎鶴次郎
右者儀今般死亡候に付頭書の保險金を日清生命保險株式會社に請求致候處直に受領仕候に付同會社の確實迅速なるは勿論保險の人生に最も必要なる事を謹告候也
大正七年一月
慶南統營　御崎遺族

朝鮮製粉株式會社募集

獨占的事業　此事業は元來朝鮮に一つの製粉業の無いのを遺憾として、殆んど同時に殆んど同じ計畫が三つ樹てられたのでしたが、其等より合同の經過を存けて、發も圓滿に握手したもので、自然是等の事情から、他に競爭會社の興り得ない立派な獨占事業であります

關税の利益　從來朝鮮へ輸移入する麥粉は、總べて從價百分の五、原料として輸移出する小麥は一石に付貳拾四錢の關税を負擔して居るのでありますが、當會社の製品はこの負擔を要しませんのであります、其上に高い運賃を拂ふ內地品や外國品に對し、價格上絕對の競爭が出來るのであります

製品の販路　朝鮮に於ける一ヶ年の消費額は約百貳拾萬袋で、其の上に支那滿州といふ無限の需要地を控へ居りますから、當會社の初期製品參拾七萬袋位は問題になりません

原料の低廉　內地の製粉業者が前記二重の關税と運賃とを拂ふて迄輸入しても、猶且に朝鮮小麥を望む程低廉で、普通まづ五割安であります、品質も近來は內地品に些の遜色もありませんのみならず、數量も亦需要を滿たすだけでも幾百萬石生産する位置であります

公募の趣意　以上列記の種目よりして全く有利有望の獨占的性質を有し居るは勿論、猶一面には朝鮮總督府に對し種々特別恩典の件に關し具申中でありますので、發起人協議の結果、愛に參千五百株丈けを公募し、世の希望者に對し、弘く共利益を頒たんとするのであります

大正七年二月
東京芝區日蔭町一ノ一（電話新橋三六八八番）
朝鮮製粉株式會社
創立委員長　安部幸之助

募集要項
一資本總額　金壹百萬圓也
一壹株の金額　金五拾圓也
一募集株數　參千五百株
（總株數貳萬株の內壹萬六千五百株は發起人及賛成人に於て引受濟）
一申込證據金　壹株に付金貳圓五拾錢也
一申込株數單位　拾株
一壹回拂込金　壹株に付金拾貳圓五拾錢也
一申込期限　二月七日より十二日迄
一募入方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜之を決定すること

發起人
東京 林松次郎　東京 古賀三千人
東京 川上俊介　千葉 小坂市太郎
横濱 田中孝太郎　岩手 菊池有隣
東京 高木幸次郎　岩手 三田義正
岩手 高橋孝三郎　盛岡 木村泰治
東京 鶴淵宇八　千葉 鉛場伊之吉
岩手 梅津東四郎　東京 平田初熊
岩手 太田弥五郎　東京 牛尾此助
岩手 及川晃　東京 鈴木茂次郎
東京 山下秀實　東京 鈴木由郎
千葉 山中隣之助　東京 ○原虎太郎
東京 八木壽助　東京 ○吉村鐵之助
千葉 松方正雄　東京 ○吉富硯一
東京 牧山清砂　東京 ○中井國太郎
東京 前川太兵衞　東京 ○山口誠太郎
千葉 前田丑松　東京 ○安部幸之助
東京 増田義一　横濱 ○楢瀬軍之佐
東京 松岡富雄　朝鮮 ○杉浦譲作
（○印ハ創立委員）

株式申込取扱所
第一銀行京城支店　東京山口銀行
第一銀行大阪支店　東京山中銀行
第一銀行名古屋支店　東京銀行
朝鮮銀行　川崎銀行
朝鮮銀行鎭南浦支店　中央商業銀行
朝鮮銀行東京支店　帝國興業信託株式會社

○定款起業目論見書收支計算書及株式申込證印鑑用紙等は各取扱所に備付有之候

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（五日）

貴族院にては五日請願委員會第二第四分科會、共通法案特別委員會、徴兵令中改正法律案特別委員會を開會せり

▲衆議院休會 各派代議士會開催

衆議院は五日本會議及び委員會共に休會し政友、國民、新政各派代議士會を開き來年度總豫算案に對する態度を決せり

▲徴兵令改正案委員會

五日午前十時十分開會、林委員長以下出席

▽林博太郎伯 六週間服役を一年に延長する時は約九倍の延長にして餘り急激なる變更ならずや又一方より見れば小學校教員は小國民教育に就き義務年限を負擔し居り同時に兵役の義務を負擔し居れり更に兵役の義務を重課するは苛酷に失せざるや

▽山田陸軍次官 普通徴兵は一年を經て漸く一通りの教育を終るのみなれば豫備將校を充分教育せんとせば一年間は必要なり

▽石渡敏一氏 二十七歳迄徴兵を猶豫するとすれば醫科大學生は卒業前に兵役に就かしむるや

▽田所文部次官 醫科大學生五百名中二十七歳以上の者は四十三名なるを以て改正に伴ふ影響は比較的稀薄なる可し

▽江木千之氏 一年現役兵服務中の給與に關し責任ある答辯を求む

▽大島陸相 文部並に大藏當局と協議の結果俸給の八割位を支給する筈なりと答へ之れにて未了の儘正午散會せり

◎暗雲一掃 豫算折衝顛末

原政友會總裁は三日議長官舍に於ける最高幹部會議後同邸に後藤內相の訪問を受け大正七年度豫算に對する政友會幹部の意見交換の結果戰時利得稅酒造稅增率は大體承認し國防計畫は之れを容認するも所得稅法改正以下其の他の新增稅は一切之れを否認し通行稅廢止は其の必要無きに決したる旨を告げ政府の考慮を求めたるに後藤內相は委細了承せるも所得稅法改正は今回財政計畫の主要部なるを以て再考を煩はし度く且つ通行稅廢止に就きては國民黨年來の希望もあり一應犬養國民黨總理の意見を聞く必要あるを以て此の點は篤と熟考せられ度き旨を披陳して別れたるが四日午前首相官邸に於ける犬養總理後藤內相會見の內容は此の問題の顛末に關するものにて犬養氏は假令政友會と友黨關係を持續するにせよ通行稅廢止は我黨年來の主張にして今更ら變更し難き理由を說きたり而して通行稅廢止に關しては既に憲政會の反對あるを以て政友會が讓歩せざる限り否決さるべきは勿論にして政府と政友會との掛引は一に懸りて所得稅法改正の一點に存したるも政府が前電の如く政友會の修正意見賛成に決し茲に圓滿に解決せり（東京特電）

◎聯合國軍事會議

聯合國最高軍事會議は二月一日午前引續いて三時間、ベルサイユ宮殿に開會、佛國首相クレマンソウ氏議長席に著き午後よりは議員及び佛、英、伊三國の將軍大臣及び米國陸軍代表者ブリッス將軍等出席せり、傳ふる處によれば本週の會合前ヘイグ元帥は佛軍總司令部を訪うてペタン將軍と會商し此の結果聯合軍間の共同作戰を一層緊密ならしむべき方法立ちたりと（巴里電報）

◎亞國武官引揚げ 獨墺

伯林及び維也納に於ける亞爾然丁公使館附武官は米國に向つて出發せり（倫敦電報）

◎在支敵人收容地

浙江省普陀山に敵國人を收容すべく閣議にて決定せしが北京外交團も亦異議なしと（北京特電）

◎入超三百萬圓 一月下旬の貿易

[illegible]

一月下旬	大正七年	前年	比較
輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

輸入は二割增加 羊毛及び油粕等に於て減少せるも棉花及び鐵類の增額多

▲輸出入金銀貨旬日概算表 [illegible]

▲對朝鮮移出入額旬日概算表 [illegible]

東淸鐵道にては西比利亞線及び烏蘇里線の境界に於て支那稅關が輸入品を絕對に禁止したるより貨車の停滯多く之が結果として一日[illegible]廻送を見るに過ぎざれば東淸貨物の停滯する如き事なかるべしと

◎奉天借地手續

[illegible]場合は貸附許可せざる事となる可し而して從前申込者にして諸要項に適せざるものも亦其の効を失ふ可し且つ奉天以外の申込者にして[illegible]

[illegible]八百三十二人、女千七百一人、合計三千五百三十三人にして朝鮮人[illegible]

◎鐵道本通

▲櫻井局踏査 五[illegible]第一期線買地踏査の爲め總督府鐵道局櫻井明氏[illegible]四日官民の重なる者を招待し盛宴を張れり ▲署長歸任 先般來群山方面より馬山方面に出張中の木浦[illegible]

◎帝政元兇の赦免

二月四日大總統令を以つて政治犯嫌疑にて追捕中の梁士詒、朱啓鈐、周自齊の三名を昨年復辟以來國事に奔走の功勞あり且つ目下の時局人材の需用急なりとて直隷督軍曹錕氏より電報を以て赦免を申立てたるより右三名の逮捕追及を免せらるゝ旨布告せられたり（北京特電）

◎獨逸品極東に及ぶ

獨逸商品は今や深く露西亞に入り込み莫斯科は言ふに及ばずオムスク、イルクウツクに迄及び其の內石油の如きは四十留のものが十留にて供給され然も變裝せる獨逸官憲の保護の下に自動車にて所々に配り居れり（長春特電）

◎王家軌範 發表は紀元節後

樞密院に諮詢中なる王公家軌範は此後更に特別委員會に附議せらるゝ筈なれば公布期日は未だ決定せざるも紀元節には發表し能はざるべしと（東京特電）

◎興銀總會

日本興業銀行は五日午後一時より同行樓上に第三十二回定時總會を開き志立總裁座長席に就き營業報告並に利益配當案（第一、五分第二、六分）を附議可決し次で臨時總會に移り新株第一回拂込額問題過任選了の報告ありて午後二時散會せり（東京特電）

◎大田鮮銀理事

[illegible]會議出席の爲め大田鮮銀理事は五日午後八時大邱發京城へ向へり（大邱特電）

◎南鮮を巡りて 松川軍司令官談

初年兵の教育は好成績 日名勝古蹟の保存 各地兵營視察[illegible]

南鮮地方各部隊に於ける初年兵教育の成績は概して良好と言はねばならぬ殊に教導初年兵の體格等は前年に比すれば非常に見るべきものがあるそして本年は格別氣候の暖かいので衛生も幸福な譯だが[illegible]

▲地理の實査 もやつた譯で從つて多くの名勝古蹟と云ふ樣な所を訪ねる機會も多く有つた次第である[illegible]古蹟はあつたが悲しい哉我等は[illegible]道に通曉して居ない者は雖だ[illegible]歷史眼から觀ては之れと言ふ批評も出來ないが唯だ一つ古蹟遺物の維持保存を言ふ點に就いて

▲甚だ遺憾を 感じた內地等では勿論あんなに迄頹廢さして置くまいと思ふが朝鮮に於ける古蹟、山緒ある建築物等徒らに風雨の侵すに委して殆んどそれが維[illegible]

[illegible]同時に何とか古蹟維持に就いて[illegible]配慮を要する事だらうと思ふ[illegible]

▲市況を活潑 ならしめ[illegible]朝鮮地方は一般に景氣が好い樣であるが[illegible]一般農民はホク〳〵もの[illegible]

▲特種機關實現 [illegible]

▲一割一分 の補給を行つた[illegible]

□日本の誠意を賞讚す

ヘラルド巴里版の論評

紐育『ヘラルド』巴里版一月三十日社說に於てヘルトリング、ツエルニン兩伯の演說は特に耳新しき點なきに反し日本の宣言は殊に人の目を醒ましむるものがあり戰爭の經過を熟知する者は苟くも日本政府宣言の誠意を疑ふものあらざる可し日本が聯合國に與へたる援助は各國民衆は未だ十分に之を認め居らずと雖も英國をして其全國力を擧げて戰爭に從事せしめ得たるものは日本の忠實なる協力に俟つ所大なるものあるなり右宣言は

▲意味深長なる 宣言殊に獨逸性『ボルシエヴイキズム』の極東に傳播せんとするに對しては必要あらば武力に訴へても之を防止せんとする其決心に對しては眞に[illegible]

▲獨逸も亦之を 看過することなかるべし從來獨逸は日本を聯合國より分離せしめんとして凡ゆる手段を盡し其機關紙『フランクフルト、テルツアイツング』の如きも[illegible]

[illegible]

一、鉛塊壹萬五千封度
右購買ス詳細ハ貳月六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

第貳拾五期決算 貸借對照表

負債之部	金額
資本金	[illegible]
政府貸下金	[illegible]
諸預金	[illegible]
支拂送金	[illegible]
借入金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

漢城銀行

第拾參期決算報告 貸借對照表

負債之部	金額
資本金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
家屋修繕積立金	[illegible]
合計	[illegible]

資産之部	金額
[illegible]	[illegible]

京城競賣株式會社

陸軍拂下 並に諸官衙拂下品
靴、手袋、被服一切
京城府漢江通三番地 電話長三三六番
佐藤古着店

周易 高岡民知

組織變更謹告
アーセミン
アーセミン
合資會社アーセミン商會儀開業以來名大ノ御愛顧ヲ蒙リ益々業務發展ニ相向候處時運ノ進歩ニ鑑ミ更ニ業務ノ擴張ヲ必要ト認メ今回組織ヲ株式會社ニ改メ一層奮勵仕リ候間何卒倍舊ノ御引立ヲ賜度此段謹告仕候追テ從來ノ御取引關係ハ一切新設株式會社ニ於テ繼承仕候
大正七年二月
東京日本橋村松町
合資會社アーセミン商會改メ
第一製藥株式會社

日鮮會話精通
朝鮮總督府判事 西村眞太郎著
[illegible] 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢

一、朝鮮に[illegible]
二、[illegible]殊に同氏の前著『朝鮮語會話』を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
三、[illegible]
四、單語の數は實に八千以上なり
五、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百ごす
六、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
七、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に藏せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部

廣告代理業
大阪高麗橋四丁目
萬年社
支店 東京・京都

[illegible]門 [illegible]
內地 朝鮮 滿洲 三百三十餘
直接取引 新聞 英米支那 印度南洋 百 五十餘
全土雜誌 內外各地 百 四十餘
屋外廣告 大阪市內揭示場數箇所
代理店 倫敦、紐育、市俄古

關東酸曹株式會社製
果樹害蟲豫防驅除劑
登錄商標 サンソー液
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目
戸田春藏本店
電話長三八五・六番
△類似品に御注意說明書申越次第進呈△
△農具 肥料 種苗 在庫品豊富△

住宅問題

▼朝鮮に適する 和洋折衷式
保温上の新設備を施した駐劄軍の新官舎
陸軍三等主計 吉井德藏氏談

今回貴社で防寒建築案を募集されるやう發表されましたが常に住宅問題のために頭を惱まされて居る朝鮮居住者に對して非常に宜い試みとなるだらうと思ひます現に師團でも將校の食堂や集會所ただど凡そ官舎に住つてゐる者の集る所では冬期になると住宅に關する話で持切つて居る程に其の改良の必要を認めて居りますが

▼在鮮建築業者及び斯道技術者 などの中に與の研究者が出でないのか何時まで經つても朝鮮の風土に適した內地式の建築が現はれない又住宅改良上最も注意を拂はねばならぬ家主連と雖も打算的で借家人本位の建築をしない、こんな關係上朝鮮に居住するものとして誰一人住宅の改良を望ぬものはありません龍山駐劄軍でも舊官舎が殆んど朝鮮の氣候に適せない不健全の建築である處から這度新たに建てられた官舎は何れも南に面して光線の射入を充分にし其他にも保温上種々新しい設備を施したため

▼大層住心地が善くなりました が其經驗に依れば如何に激烈な寒氣が襲來する朝鮮でも建築法にさへ改良を加へたならば內地式の住宅で充分である事を證據立てられました新舊官舎の比較をすると舊官舎は多く北向きであつたゝめ南の陽が射さず結氷季中は椽側の硝子障子が眞白く凍つて春まで解けなかつたものが新官舎では悉く南向きであるから斯樣な事はなく採暖に要する燃料も新官舎は五割乃至六割も節約する事が出來るので舊官舎の人々はみんな新官舎に移轉したいと言つてゐます、構造にしても

▼南向きの椽側を硝子障子にし 床は二重張りにして壁や戸などは厚く隙間のないやうにしてあるから夜一度ペーチカを焚いて置けば夜中暖いし日中など晴れてさへ居れば温室のやうな暖い温度を保つて居りますから如何な嚴冬中と雖も非常に凌ぎよいやうです、理想的にするならば外部は二重硝子の西洋窓にし內部は內地式に疊敷きにしたならば起居には適するし保温上には宜し、先づ朝鮮にだける住宅としては和洋折衷式が宜いやうに思はれる、次に注意せなければならぬのは新官舎よりも舊官舎の方が戸障子の歪みが甚しいやうである此れは地形の關係で朝鮮の如く

▼地下二尺以上も凍結する土地 では什しても三尺以上掘下げてコンクリートで固めなければならぬ龍山邊りの陸軍官舎では深さ五尺もコンクリートの地形をしてあるが怎うして置くと結氷期中に障子が動かなかつたり解氷期になつて土台が弛み家が傾くやうな事はない其他會所や便所の位置暖房裝置なども改良された新官舎の建築は大體に於て朝鮮の氣候に適した內地式の住宅と言つても宜い

◉傑過ぎるほど傑い
惜しむべき故秋山海軍中將
總督附武官 釜屋海軍少將談

逝ける秋山海軍中將の爲人に就て、釜屋總督附武官は語る故中將は實に傑物であつた、傑過ぎると云つても可い程の人であつた、予は兵學校時代に、級は異ふが寢室は同じであつたので、大概其の爲人は知つて居るが

○其風采は 長兄故岡正矣氏の顏を少々長めた樣な、併し眼などは酷似して居た、秋山大將とは全然理が異つて、どちらかと云へば好男子の部に入る方であつたが、其れでも決してハイカラでは無く、學校時代などシャツが汚れても洗濯をしないので、段々敎官から叱られて居たのを見たことがある、歐なども却々上手で、酒も剛の者であつた、體質も先づ

○强壯體の 人であつたが五十を越した許りで死なれたのは誠に惜いことである、故中將が如何に傑らかつたかと云ふことは、數へ立つれば際限は無いが、日露戰爭の際、聯合艦隊の參謀として其の明敏な頭腦が什麼に働いたかは、もう語るとしても古いが、日露戰後海軍大學の敎官と成るや、新らしい

○獨創的の 戰術を數へ込むだもので、爲めに我海軍の戰術は多少の變化を來たした位である其れから前年歐洲の戰況を視察して歸り、一日製鐵業に關する視察談をしたことがある、聽者中には專門家も當業者もあつたのだが、一武人たる中將が冶金學の造詣深奧なるに感じ

○其觀察の 精細を極めたるに驚き入つたのである、若し夫れ中將の講演に至つては能く其の要を摘むで人を魅する底の辯を以て之を行ふので海軍部內では有名なものに成つてゐた、要するに中將は腕の人であると同時に口の人であり

○計畫の才 と實行の力とを兼備し、謀殖あり、膽略あり、所謂行うとして可ならざるは無しで前にも言つた通り、傑ら過ぎる程傑らかつた、蓋し不出世とは云へまいが、稀れなる大器であつた

◉昌德宮內殿の再築
四月上旬著手

昨年罹災炎上したる昌德宮內殿の再築は既に總督府技師の手にて設計を了したるを以て愈々來る四月上旬頃より建築に著手する筈なるが、此の建築物は總て景福宮內にある康寧殿及び交泰殿の建物を是に移し、外部は朝鮮式の宮殿となし內部に洋風の室四五箇所を設くる由にて暖房の裝置は既記の如く俄かに舊慣を廢し能はざる事情あるを以て大理石其他堅固なる石材を以て温突式に築造すべしといふ而して昨年十二月二十五日開基の式(定礎式)を擧げ本年一月二十二日立宮式を擧げたるを以て愈々解氷期を俟つて建築に著手する由なるが總坪數は約八百坪、竣成期は多分大正八年末頃なるべく建築總豫算額は約五十萬圓位ならんと

◉生後三箇月の嬰兒燒死
◆置炬燵から發火して目も當られぬ慘狀

京城本町四丁目三十二番地精肉商原籍愛媛縣周桑郡田野村八反地[illegible]助方表二階四疊半の置炬燵より五日午後六時頃出火生後二箇月の嬰兒を燒殺し約十分の後消止めたる椿事あり直ちに現場に驅けつけ其の模樣を見るに二階一面煙に閉され薄團の焦げたる臭ひ鼻を衝く中に四邊の混雜甚だしく別室の四疊半には脚部の肉は熱爛れ白骨さへ現はれて見るさへ慘鼻を極めたる嬰兒の屍體が襤褸に包まれあり、異臭漂うて胸も塞がる許りなりし

▼母親は半狂亂 ◉同居した同居人の談

右に就き同居人なる高岡奈良松語る『私は當居を讓り受ける事となつて只今同居して居りますが主人の善助さんは午後四時半頃龍山方面に出掛け其後で妻君のモヨさん(三八)が赤ちやんを

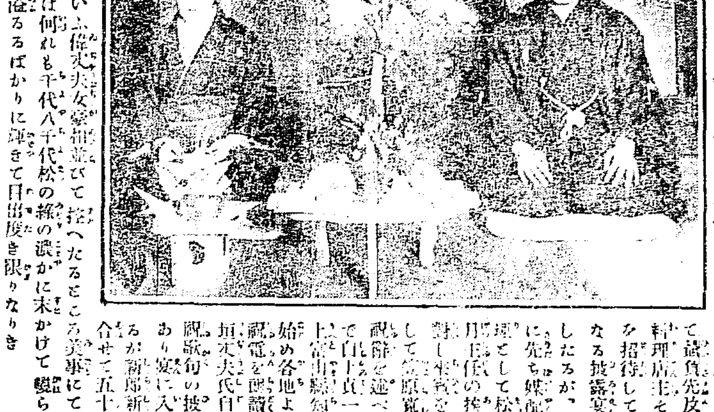
▼大和炬燵 の中に寢つかせ進(三)と榮江(九)と云ふ二人の子供を連れて私の居る階下の四疊半に降りて來ました、そして約半時間程雜談して後進さんが二階に上ると二階一面煙に包まれて居つたので『叔父さん火事!』と叫びましたから私は

▼一足飛び に二階に上つて手に火傷するのも厭はず消止めましたが其時は既に赤ちやんが燒死んで居たゝめモヨさんは半狂亂の如くなつて火事!〱と叫びました此の聲を聞き付けて近所の人達が集つて來て助勢して呉れましたので大事にもなりませんでしたモヨさんは

▼逆上して 精神に異狀でも起つてはと思ひましたから早速本町四丁目の仙崎食料品雜貨店に預けて貰ひましたが未だ嬰兒の死んだのも知らず火傷は大きいか醫師に診せたかと言つて眼を泣き腫らして居る相です主人には早速使ひを出しましたが未だ歸つて參りません』

▼父親卒倒す 『子供は息があるか』

其處へ主人の善助が息を切つて歸宅し座敷に上るや否や見舞人の弔詞も耳に入れず『あゝ死んだツ嬰兒は息の根がありますか』と言つて頭を抱へて打倒れるに程近本町署の人は堅く緘口をして與へ本町署の村警部が檢屍の際も慘鼻極まる屍體を見せなば氣も狂はんと慮り薄團を被せて一先づ檢屍させたる程にて並居る者も慰めん言葉さへなかりき



◉似合ひの花婿花嫁

元東京力士龍ケ崎事齋藤松太郎(二[illegible])は花月の媒酌にて元喜久家の女將岡田きちよ子と結婚の約成り、事既報せし如くなるが愈々二月五日の吉辰を卜し花月に於て華燭の典を擧ぐることゝなり午後五時より學式引續き七時より同樓に於いて誠負先及び各料理店主其の他を招待して盛んなる披露宴を催したるが、開宴に先ち媒酌人代理として松井花月主任の挨拶に對し來賓を代表して笠原寬美氏祝辭を述べ頭山上富山縣知事を始め各地よりの祝電を朗讀し大垣丈夫氏自作の祝歌句の披露等あり宴に入りたるが新郎新婦を合せて五十貫近くに達するてふ偉丈夫女豪相並びて控へたるところ美事にてその豐かなる顏には何れも千代八千代松の緑の濃かに末かけて變らじと契る日の歡び溢るるばかりに輝きて目出度き限りなりき

學校めぐり
▽京城幼稚園

オルガンの上手な先生が巧みに彈奏するを使つて彈奏する南山町京城公立高等女學校の向ひに少さい小じんまりした建物がある。そしてそこからは何時も可愛らしい坊ちやん孃ちやんの美しい唱歌の聲が聞へる。それは皇太子記念京城幼稚園と云つてまだ學齡に達しない地上のエンゼルを集めて

やさしい手つて數へる唱歌や遊戲をさせたり

處で明治三十三年 天皇陛下の御慶事を記念に立てられたものである。そして創立以來保育完了者の總數が七百幾人、現在の園兒が第一二三組を合せて男女とも百八である。記者が往つた時、皆が遊戲室に集つて動物園遊びをしたりさせたり御人形樣を抱いてねんねをさせたり又御羽根を突いたりする處であつた。見てゐる內に忽ち動物園が畳んで肩へ載せて物買りの眞似をする坊ちやんもあれば『先生御人形樣の髮が取れました』といふ孃ちやんも居る。するとそれを雛しては『そんな物買りの眞似をしてはありません』とか『御人形樣の髮が取れたとはまあ可哀相に、後で病院にやりませう』と一々何んとか云つてやる

園兒は登園する時雛母に『御早うございます』と

挨拶をする樣にさせてゐるが或子供は雛母を見ると必ず『御早うございます』といふものだと思つて夕方本町通りで遭つても『先生御早うございます』と云つて思はず

燥樣の顏を赤らめさせる事がある。こは隨分あどけない話である。去年の園兒の中には大層智の上手な兒が居て庭一杯に大きな獸を書いて遊んでゐたが今年はそんな獸の上手な小供の居ない替りにオルガンの上手な坊ちやんが居るまだ

十八歳の小兒でありながら巧みに雛手を使つて

オルガンを彈く者があるといふ、『○○さん、オルガンを彈いて上げて下さい、それから△△さん、××さんは少さい子の歌を謠ひなさい』

少さい子〱お前は何をしてゐます。私は梅をかいてゐます。梅をかいてそれからそれから謠ひます それから歌も謠ひます 何の歌を謠ひます 黃色い甘い漬物さて ケキョ〱ホーホケキョ

△朝鮮では

初めて結婚した人を不意に襲うて御馳走をさせる習がある△即ち朝鮮で結婚をしたと云ふことが分かると友達と云ふ友達が皆な其新郎の家に押かけて行つて一室に引張り出しては判官が刑事被告人でも調ぶるやうな關係に初夜の事を質問するのである▲其答が曖昧でゝもあらうものなら敢て打擲することも辭せぬ勿論惡戯半分にするのではあるが▲年の若い新郎になると泣き出すものもあるが泣き出しでもすると尚ほ更ら酷くなるから堪らない▲かくて御馳走が早く出なければどうしてもかうしても白狀させずには置かない▲これを朝鮮語で東閒禮と云つて居る▲コレに做つて昨夜婚禮をした龍ケ崎の齋藤松太郎君に能く試み得る者があるか何うか▲五日夜の本町の消火事は早く發見したので大事に至らなかつたが嬰兒を燒殺したのは聞くも情に堪へなかつた▲其原因を檢べると大和炬燵に嬰兒を只一人で寢かせて置いた爲め褪袢に火がついて室內に煙が滿ち窒息した爲め泣き聲さへ上げられなかつたらしく▲檢視に立會つた人々も腹部まで眞黑焦げになつた屍體を見て思はず顏を反けた▲子を持つ親のみならず誰も火の用心は肝要であらう

◉漁舟の顛覆

慶北迎日郡東海面林谷洞の沿岸にて一月二十五日午後十時頃出漁中の漁船一隻(三十石積)風波の爲め顛覆し乘組員二名は救助されしが船體の損害三百圓漁具同じく五百圓なりと

◉牛三頭

全南羅州大正町李鍾弼方郷傭金(三一)は同郡細枝面松堤里朴成云(五〇)の娘朴順禮(二二)と情を通じ居たるが鄉が他へ旅行せる其間に娘順禮は他に嫁ぐ事をこしらへ居る事を鄉が聞知し娘の父朴に向ひ汝の娘は自分と夫婦の約束をし乍ら他に情夫を作るは不都合故告訴すべし若し自分と娘との關係を絶たんと欲すれば牛三頭を提供せよと嚇し附け去る十八日約の如く牛三頭價額約百圓のものを提供せしめたる事發覺し目下取調中

◉京城倶樂部兎狩

京城倶樂部員は來る十日南山裏城壁外附近にて兎狩を爲す筈なるが當日は午前九時奬忠壇に集合し直に部署に就きて狩立て正午配付の結飯に腹を滿たし再び兎を追ひ三時頃終了獲物を料理して小宴を張る筈參加希望者は七日迄に京城倶樂部へ申込みありたしと

◉貧困者に施米

京城府廳[illegible]

◉京畿道管內凍死者

客年十二月より一月に於ける京畿道管內に於ける凍死者數は四十三名の多數に上れり

◉京管局給仕募集

京城管理局に[illegible]

◉東清貨車增加

[illegible]一日一百五十車の多額を受け繼ぐと能はず甚だ苦心慘憺の狀況なりしが其の後東清鐵道の狀態は彼れが宣言せる如く一日一百五十車の[illegible]

借受申込の注意事項は申込書に所要坪數借受の目的建物の種別構造等を明記し尚研究建坪申込者の住所氏名を明記し萬一何れか一項にても適せざる[illegible]

◉天津の邦人數

天津日本[illegible]女[illegible]計五名にして邦人は戸數[illegible]戸數九百二十七人、人口男子[illegible]名[illegible]各租界を始め各租界に在住せる邦人に於て六十八を減じ人口に於て三[illegible]名を增加し居れりと

[illegible]九州に出で全南東部方面[illegible]の踏査をなすべし▲日綿社長喜多又藏氏は三日夜奈良三吉野旅館に入り

▲[illegible]風強かるべし▲位置支那東北部▲京度七百六十粍▲方向[illegible]東▲記事降雨あるべし▲[illegible]全羅南道慶尚南道の沿岸

[illegible]入超を告げ一月以降の累計に於て[illegible]の如し 前旬に比し增減の大勢は輸出は三割八分增加銅及び米等に於て減少せるも絹織物屑絲及び石炭等の增額多きに因る

	千圓	千圓	千圓
輸出	二〇	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(入)超過	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移出金銀貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移入金銀貨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移入超過	[illegible]	[illegible]	[illegible]

LEGUMON 新滋養劑 レグモン

一日も早く衰弱恢復せんとせば近時醫界の信認厚き新滋養劑 レグモン を服用せらるべし、レグモンは……京都醫科大學教授島薗醫學博士より有効滋養劑として醫界に推奬せられたるものにして多量の消化吸收性蛋白質と一種微妙の作用を有する吸收性カルチウム鹽を含有する、故に、食慾を振起し、榮養を佳良にし、一般衰弱狀態を速かに恢復せしむるを以て、總ての衰弱諸症に最も有効なる滋養劑なり (說明書無代贈呈)

(定價) 百瓦入 金壹圓貳拾錢 貳百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢

大阪市東區道修町 一手販賣元 武田長兵衛商店

謹告

金鷄香水 壹本ニ付 大瓶 十五錢 中瓶 十貳錢 小瓶 五錢 豆瓶 三錢

リリー香水 壹本ニ付 大瓶 十五錢 小瓶 十錢 大豆瓶 貳錢 小豆瓶 壹錢

輸入原料益々高騰のため今回以上の通り値上げ仕候

東京日本橋輸入元 舶來雜貨直輸卸商 大崎組商會

たんせき良藥 セキドミン 拾錢 貳拾五錢 五拾錢

金牌賞牌廿四個受領

なるほど 美味である と 滋養がある 賞讃されつゝある 蜂印香竄葡萄酒

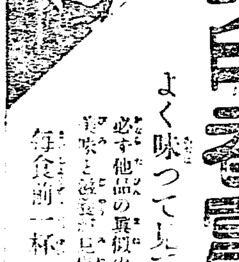
よく味つて見て下さい!

必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が記憶される

毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す

蜂印香竄葡萄酒は生葡萄酒を素とし強壯料を主成分として精製せる醇良品たり 到る處の藥店酒店にあり

東京本町 近藤利兵衛



櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百四十三回

二人士（二十一）

『通りました〳〵、然も同伴のお方が御病氣とか被仰つて、物の二刻も御休息でございました』

利右衛門は冷りとした。助左衛門は目色を變へて

『はて、病人は男か女か』

『旦那らしい壯い御武家樣でございました』

『甚う惡いやうであつたか』

『食中りらしうございました。何でもお腹がお痛み遊ばすやうで、お供の衆も、御新造さんも、大さう御心配でございました』

『昨夕何れに泊つたであらうかの』

『多分橋本であらうと存じます』

助左衛門の面上には、ます〳〵元氣の波が漾ふ。利右衛門は考へる、その胸の底に『病人を抱へては難儀致し居るであらう、それで無くても弱い女、然も病氣中の者を斬るは、懐へ入つた窮鳥を射殺すも同じである、そんな事が爲らうか』との思案が付く

『鯖を越れたらすぐ橋本ぢや、急いで參らつ』

助左衛門は床几を放れさうにした、利右衛門は引き止めて

『今聞くと、初瀬は病氣で居るさうぢや、貴殿病人をお殺しか』と氣色ばんで問いた

『病氣に由り申す、容態に由り申す』

『うむ』と手を叉んだが『手前は弱い者を相手にしたくない』

『さらば助太刀は下さらぬか』

『手前は貴殿が病中の女を斬り殺さうと召さる、その心術を疑ひ申す』

『や』

『相手は女、然も病人、左樣な者を擇つて、それが武士と云はれ申すか』

利右衛門は詰り云ふ

『その御不審は有理ぢや、然し[illegible]、手前は初瀬を斬らうと云はぬ、初瀬の身にかゝる武士の意地を斬らうといふのぢや』

『それにしても相手は病人ぢやでござらぬか』

『病人にも意地はある、彼の女の首級を持たずば、生きて諸之丞に合はす面がない、もし眞實の道から云つたら、女一緒に弱い女を手に掛けるは、武士の本意でないかも知れぬ、それに由つてお味方協はずと仰せあらば、これにて手を分つまでの事ぢや、武士の金打が反古になる分のことぢや、强てとは申すまい』

助左衛門は投げ付けるやうに云つた、利右衛門はまた考へる、その眉を衝くやうに

『前を急ぐ、志す山が見ゆる、いや出發を致し申すぞ』と促す

利右衛門はそれすら斷はり難れた、一身兩の道に掛つては、何れへ進む思案も出ない、夢の如に立ち上つて

『意地は意地、慈悲は慈悲、一圖に意地を通す爲め、慈悲を失つては道に外れる。手前も一たんお約束を致す上は、今さら心變りは致さない、一時を爭ふ大事でなければ、居所さへ分明致せば、いつにてもお望みは協ふでないか、道々よく御思案を爲させられい』と氣を付けるやうに云ひつゝ歩む

助左衛門は、今となつて利右衛門が慈悲事を云ふは、婦の愛に引かされる爲めであらうとより思へなかつた、初瀬を殺害せんとすれば、[illegible]も反面ひする、されば相じ方に切り下げねばならぬ、日ごろ[illegible]なる、父子の愛情から云つて、それは忍びぬことであらう、利右衛門に離れるのは止むを得ぬとして初瀬の味方に廻られては大變である、と思ひながら歩む、同じ道は歩みながら、二人の心は別であつた、紀見峠を前後して攀ぢ登る

無病長壽を希ふ人あらば
斷然として津村兄弟商會の
人參エキスを
知らる人は人參エキスに親しむ方が一生涯至極也
東京日本橋　津村兄弟商會

日詠歌壇

「兵營の正月」　京城　木谷　涙花

[illegible]

「千鳥」　京城　縮環

[illegible]

「燕」　仲山　朝光

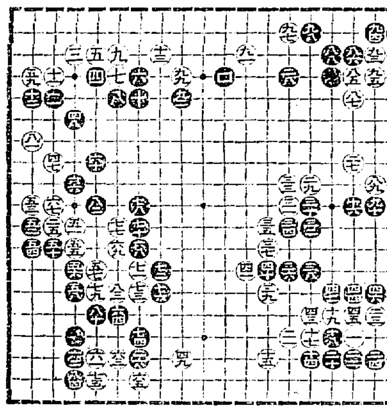
[illegible]

碁戰

十番第五局の五　非

三山平壽氏　ニ子　大久保雅彥氏

白番（百四）より黑（一八一）七の口迄



讀者の領分

▲或る道の郵便局や或る地方の郵便所の窓口では[illegible]二錢の手數をかけて[illegible]居る處があるやうで[illegible]あるが何とか簡單にして[illegible]くやうにして[illegible]子も解らぬ女子供に向つて[illegible]良いと言ふ態度で現金[illegible]の窓口だ、切手を買つて來なければ駄目ですなんてポン〳〵言ふものだから女や小供は郵便局へ行くのを嫌がる窓口君ちとお手軟らかく願ひますぜ（最近入京の判任官見習）▲南大門の喫茶店はお客に對して一[illegible]が言つたやうな顏つきをし時間間際なんどに飛び込んでも一向に早やく持て來ぬ[illegible]の者は氣をつけねば評判が惡い[illegible]ぞ（ハーゲン）▲電車線路の近所で子供を遊ばせる事に誠に危い[illegible]だ二日の夕方黃金町の[illegible]の前の邊りでスンデの事で四才ばかりの男の子を轢く所であつた[illegible]母親が傍に附いて居て[illegible]

新刊紹介（到着順）

▲市町村雜誌（二ナ〇）十三錢東京芝田村町六共社
▲海軍協會々報（第一號）非賣品　東京麴町區日比谷町一の三海軍協會
▲海國少年（二の二）十二錢東京芝區佐久間町一の一共社
▲實業之世界（一五の二）十五錢東京麹町區有樂町一の四共社
▲現代之化學（六の二）二十八錢東京市外下谷[illegible]二五共社
▲人文（三の二）十四錢東京市小石川白山御殿町一一七帝國小學[illegible]
▲和美術（二の二）七錢東京四谷區本村[illegible]町二九共社
▲日本魂（三の二）二十五錢東京[illegible]
▲警務彙報（一五二）[illegible]
▲婦人の覺醒（[illegible]）[illegible]
▲刀の研究（[illegible]）[illegible]
▲經濟之[illegible]
▲樺東時報（[illegible]）[illegible]
▲世界の電氣（十三卷二）[illegible]
▲あへ方（一の七）十七錢[illegible]
▲兵備界（[illegible]）三十錢大阪市[illegible]
▲正則中學講義錄　第五學期第八號　會費一ヶ月六十錢東京神田區駿河臺[illegible]本國正則中學會

京日案内

普通　一回前金一圓　普通五十錢　三十錢
▲御注文は必ず前金のこと　▲廣告文字は必ず數字の外記入を乞ふ

恩給年金局[illegible]　古著高價買入御報參上　木村屋
黃金町二丁目電[illegible]二三三〇三七
恩給、年金[illegible]、現物[illegible]　西村商會　京城若草町[illegible]
●鑛物各種分析
鑛物定量分析
[illegible]松本分析所
[illegible]堀元分析所

最新刊

[illegible]
小說　未　活用法[illegible]
忍術妖術魔術[illegible]
[illegible]
改氏改名自在
[illegible]
最新相撲[illegible]
世　間　學　[illegible]

大阪屋號書店

ひゞ、あかぎれ、しもやけ、凍瘡、腫物の大妙藥は
ゆびぐすり
定價　五錢　拾錢　三拾錢
本舖　大阪[illegible]　中井馬鑑製
御求めの節馬の商標に御注意を願上候

りん病には毒滅
▽にせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に[illegible]ドラッグあり[illegible]あれ當京城[illegible]ドラッグ商會と稱する[illegible]
詐欺漢なり
[illegible]月一日の本紙御覽
京城南大門外[illegible]
花柳病ドラッグ商會
[illegible]大阪ドラッグ商會

數年たん咳ぜん息に苦しむ人
龍角散の特長
香味爽かにて服みやすく、藥嫌ひの人、小兒のたんせきにも適當し少量にて効果著しく服用後スグに痰を切り咳を鎭め息切れを止む
龍角散で病名
たんせきぜんそくの苦しみを切る！
餘病に變ぜぬ內
たんせきは
早く治療なさらねば[illegible]支炎となり肺炎となり肋膜炎となつて一生の不覺を招きます。されば輕い內に一時の治療からたんせき、ぜんそくの專門藥として最も有名な良藥龍角散の服用が最大急務です
龍角散
主治效能
▲たんが常にゴホン〳〵と惱む人
▲ぜんそくでゼイ〳〵息切する人
▲せき頻に出て夜中よく眠れぬ人
▲流行感冒より起るたんせきの人
▲肺病にて常に力なきせき出る人
▲たん臭氣を帶び時々血の交る人
▲百日ぜき又ははしかぜきの小兒
▲音聲のかれ又咽喉のいたむ人
▲常に音聲を使ふ人服用あれば咽喉を滑かにし聲の勞れを補ふ
定價　二日分十錢　四日分二十錢　一週分三十錢　二週分五十錢
全國藥店にあり本舖へ御注文は切手代用に願上候
本舖　東京市[illegible]　製劑部　藤井得三郎

梅見化粧

（ミツワ文庫、七二）

梅花の樣に氣品のある濃化粧　此化粧を美しからしむる用意

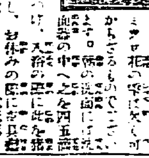
尾上菊五郎談

梅見化粧と云ふものが特にあるといふ譯ではございませんが二月は梅の咲く時、その梅を見に出かけますに適はしいお化粧の話を申上げませう。梅は百花に先立つて咲[illegible]とか百花の魁[illegible]と申しまして、凛とした[illegible]ますものでこそ[illegible]はしい外出の[illegible]しい濃化粧[illegible]

[illegible]先づ白粉[illegible]を[illegible]から頸[illegible]して手均に[illegible]刷毛で[illegible]に白粉を[illegible]

ますし第一は白粉をつけます土臺になります[illegible]大切でございますから、之を整へて置く必要がございます。それには皮膚の营養を助けるミツワ石鹼を使つて入浴をしますのが何よりでございます。ミツワ石鹼は不純な混合物のない[illegible]遊離のアルカリもない化學[illegible]の純石鹼でありますから[illegible]

▲尾上菊五郎[illegible]



[illegible]

[illegible]を落ちつけて乾かします[illegible]白粉は二重に塗り[illegible]原料にい、脂肪を使ひ、日本人の皮膚に[illegible]研究し精製された理想の石鹼でございまして、水にも湯にもよく溶けて雪の樣に眞白い泡沫が氣持よく立ちますから、此をお湯で濡れて胖かになつた皮膚に塗りまして靜かに撫でますと、汚垢は此の泡沫に混ります。然れば助けから之をお湯で流します。汚垢は泡沫ぐるみすると落ちて皮膚は清潔になり、營養は助けられて生々といい色澤になりきす。湯上りに此の淸潔になりました皮膚へミツワ雪の雫を擦り込んで、お湯で緊く擰つた手拭で皮膚に吸ひ殘された餘分を輕く拭き除つて置きますと、ミツワ雪の雫は皮膚に潤澤を持たせ肌理を細やかにする健膚藥でございまして、皮膚は淸潔に健やかになりますと同時に白粉のなづみが頗によくなりますから、品のよい濃化粧も思ひのまゝに出來、此の季節にふさはしい梅見化粧が美しく出來上ります。

[illegible]方の頰へ及ぼし顎の白粉と混合せること宜しうございます。猶此際に御注意申し上げますことは目の縁だけを塗り殘して置きまして後に目の縁をぼかす時の用意をして置く必要がございます。次に水刷毛に水を含ませて輕く擰つて殘りの濕りで顏を撫で伸し最後に目の縁と兩方の頰へ淡紅色の煉白粉をばかし、その後を鼻叩刷毛に粉白粉を含ませて補ひ最後に口紅をさしますのです。云つてしまひますと誠に簡單でございますが、手順なりつけ法なりに中々熟練を要し

大阪商船株式會社
汽船出帆廣告

仁川出帆
●神戸大阪行（門司寄港）
大信丸　二月九日　午五時出
大信丸　二月廿一日　午五時出
●木浦、釜山、長崎、若ノ浦、大阪行
×安東丸　二月十二日　後二時出
×安東丸　二月廿七日　後二時出
●大連行
安東丸　二月九日　正午出
安東丸　二月廿四日　正午出
横濱行（[illegible]）
[illegible]丸　二月[illegible]　正午出
元山出帆
●西湖津、新浦、城津、清津行
安平丸　二月十一日　後九時
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸　二月十九日　後九時出
大連出帆
●上海、基隆、打狗行
[illegible]　二月十[illegible]日　後四時出
內地各港往復航路
●南北米行　毎月一回
●濠洲行　毎月一回
●孟買行　毎月二回
●南洋行　毎月一回
御注意
[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店
[illegible]

朝鮮郵船
出帆
本社　京城[illegible]
釜山支店　釜山港佐藤町
元山出張所　元山港通
仁川代理店　仁川港[illegible]　堀回漕部
木浦代理店　木浦港[illegible]　山野回漕部
[illegible]

○元山より北鮮各地經由雄基行
稷城丸　二月五日
咸鏡丸　二月九日
京城丸　二月[illegible]日
忠清丸　二月[illegible]日
高速丸　二月[illegible]日
元山發
×京城丸　二月五日
×咸鏡丸　二月九日
第二商運丸　[illegible]
忠清丸　一月[illegible]日
釜山發
○大阪行（釜山門司經由）
平壤丸　一月[illegible]日
釜山發
○元山より釜山及門司行
第二商運丸　二月十六日
京畿丸　二月十五日
元山發
○元山より沿岸迂回釜山及門司行
咸鏡丸　一月卅一日
忠清丸　一月[illegible]日
元山發
○鎭南浦行（沿海名地經由）
盈德丸　一月[illegible]日
釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸　毎日
釜山發
○濟州島行（居文島小島經由）
昌平丸　一月[illegible]日
釜山發
○濟州島行（西歸浦）
慶興丸　一月[illegible]日
木浦發
○釜山、鹿木山（鹿水山）
統營丸　毎日
釜山發
○木浦鹿水山（鹿水にて釜山行在航）
順天丸　三日目每中
南陽丸　修繕中
木浦發
○木浦より多津島名島行
慶興丸　二月三日
木浦發
○仁川より木浦行（群山其他各地經由）
晉州丸　二月一日
金海丸　二月一日
仁川發
○海州行（江華島其他經由）
全州丸　毎日
南陽丸　休航
三十一日ハ休航
其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
仁川發
○西湖津行（元山、芝津、大浦經由）
江原丸　一月[illegible]日
仁川發
○清津行（大阪神戸門司より）
壤平丸　一月[illegible]日
元山發　釜山發

下關期米　△五日後場（外米輸入說に氣崩）[illegible]
大阪期米　△四日後場　當限寄付[illegible]　中限寄付[illegible]
前當一十錢中二十一圓三十錢より二十八九錢と辿り先四十二錢より一錢三節各地安の入値に當二十八錢より十五錢先三十八錢二十九錢[illegible]
△先限一節二十一圓四十錢一錢二錢三錢二錢二節四十二錢三錢二錢[illegible]一錢三節三十八錢七錢六錢七錢[illegible]
五日の四月限
校寄付　二十一圓四十錢
[illegible]